

## 平成29年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の概要

### I 主な選抜日程

#### 1 入学者選抜事務説明会(県内2会場)

期 日	予 定 会 場	時 間
9月24日(土)	一関第一高等学校附属中学校	10:00～
	奥州市水沢地区センター	14:30～

#### 2 入学願書の受付 平成28年12月2日(金)～12月8日(木)

(郵送の場合8日(木)正午までに必着。持参の場合午前9時から午後4時まで、8日は正午まで)

#### 3 受検票の交付(発送) 平成28年12月13日(火)

#### 4 調査書の提出 平成29年1月5日(木)～ 1月11日(水)

(郵送の場合11日(水)正午までに必着。持参の場合午前9時から午後4時まで、11日は正午まで)

#### 5 選抜検査の実施 平成29年1月14日(土)

#### 6 選抜結果通知(発送) 平成29年1月20日(金)

#### 7 入学予定候補者の手続 平成29年1月24日(火)・1月25日(水)

(午前9時から午後4時まで)

#### 8 入学予定者の手続(市町村教育委員会への届出) 平成29年1月27日(金)まで

※2～7について、いずれも岩手県立一関第一高等学校附属中学校で行う。

### II 平成29年度 入学者選抜事務の概要

#### 1 出願資格

(1) 次のア、イのいずれの条件も満たす児童で、岩手県立一関第一高等学校附属中学校の教育理念による6年間の学校生活を強く希望し、入学予定者となった場合に入学を確約できる者とする。

##### 【教育理念】

中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。

ア 平成29年3月に小学校又は特別支援学校の小学部を卒業する見込みの者もしくは平成29年3月に義務教育学校前期課程を修了する見込みの者

(以下、特別支援学校の小学部及び義務教育学校前期課程も含めて「小学校」という。)

イ 保護者とともに岩手県内に住所を有し、入学後も引き続き岩手県内の保護者の住所地から通学することが確実な者

(2) (1) のイを満たさない場合であっても、次の条件のいずれかを満たす場合は資格があるものとみなす。

ア 出願時には保護者とともに岩手県内に住所を有するが、特別な家庭の事情により、入学後は岩手県内に住所を有する三親等以内の成人の親族(以下「親族等」という。)の住所地から通学することが確実な者(例えば、保護者の遠方勤務又は長期出張に伴って、親族等に児童の保護を託す場合等)

イ 県外からの出願の場合(県外に住所を有する場合)

① 保護者の転勤や新居建築等に伴う一家転住の事情により、入学までに保護者とともに岩手県内に住所を移動し、入学後も引き続きその住所地から通学することが確実な者

② 特別な家庭の事情により、入学までに岩手県内に住所を有する親族等の住所地に移動し、入学後も引き続きその住所地から通学することが確実な者(例えば、保護者の遠方勤務又は長期出張に伴って、親族等に児童の保護を託す場合等)

ウ 海外からの出願の場合(海外に住所を有する場合)

① 海外に在住中で日本人学校を卒業見込みの者が出願をする場合は、「1 出願資格」(2) イに準ずるものとする。

② 外国の小学校を卒業見込みの者又は卒業した者で、平成16年4月2日から平成17年4月1日の間に生まれた者が出願をする場合は、「1 出願資格」(2) ウ①に準ずるものとする。

## 2 募集定員

男子40名 女子40名

## 3 出願

(1) 出願方法

ア 入学志願者(以下「志願者」という。)は、郵送の場合、所定の「入学願書等提出用封筒」を使用し、原則として**簡易書留**により出願する。ただし、岩手県立一関第一高等学校附属中学校事務室(以下「窓口」とする)に必要な書類を持参し、提出することも可とする。

その場合、小学校長が取りまとめるのではなく、保護者が持参することとする。

イ 県外に住所を有する者の中で、「1 出願資格」(2) イの①・②のいずれかに該当する者が出願を希望する場合は、**あらかじめ下記に連絡の上**、平成28年11月17日(木)以降に岩手県立一関第一高等学校附属中学校長(以下「県立中学校長」という。)に、在学している小学校長の証明印のある「入学志願特別事情具申書」(以下「具申書」という。)を提出する。その際、小学校長に他の公立中高一貫教育校を出願しないことを証明してもらうこと。

ウ 海外に住所を有する者の中で、「1 出願資格」(2) ウの①・②のいずれかに該当する者が出願を希望する場合は、「3 出願」(1) イに準ずるとともに、出願時に「海外在住状況証明書」を添えることとする。

(2) 出願期間

ア 郵送の場合

平成28年12月2日(金)から同月8日(木) **正午まで**に必着とする。

イ 窓口へ持参する場合

- ① 平成28年12月2日(金)から同月8日(木)までの期間とする。ただし、土、日は除く。
- ② 受付時間は午前9時から午後4時までとする。ただし、最終日12月8日(木)は午前9時から**正午まで**とし、それ以降は受け付けない。

(3) 入学選考料

金額 2,200円

(4) 出願書類等

所定の入学選考料納付書、入学願書、受検票など

(5) 受検票等の交付

県立中学校長は、志願者に「受検票」を交付し、郵便により送付する。また、志願者が在籍する小学校長に「入学志願者一覧表」を郵送する。

上記書類は、平成28年12月13日(火)までに投函することとする。

(6) 志願者に対する配慮

適性検査、作文及び面接を受検するに当たって、障がいや病気等により特別な配慮を必要とする場合、その対応について検討する必要があるので、事前に(できるだけ早期に)県立中学校まで連絡すること。

(7) 志願者が定員を下回った場合

出願期間が終了した時点で志願者が定員を下回った場合は下記のとおりとする。

ア 別に出願期間を設けて願書を受け付けること(以下「追加出願」という。)とし、その期間等詳細は平成28年12月9日(金)に各教育事務所及び市町村教育委員会を通じて公表することとする。

イ すでに出願の手続を済ませた志願者(以下「出願済み者」という。)については、改めて願書等を提出する必要はないものとする。

ウ 追加出願者の適性検査日及びその後の手続日程等については、出願済み者と同様とする。

エ 追加出願を終えても志願者が定員に満たない場合、出願期間の延長は行わない。

## 4 調査書

(1) 調査書の作成

ア 志願者の保護者は、小学校長へ「調査書」の作成を依頼するとともに、所定の「「調査書」送付用封筒」を小学校長へ提出する。

イ 小学校長は、県立中学校長から送付された「入学志願者一覧表」に掲載されてある者について、志願者の保護者から「調査書」の作成依頼があった場合、「調査書作成上の注意」に従い、「調査書」を作成する。

ウ 小学校長は、作成した「調査書」を所定の「「調査書」送付用封筒」に厳封(要「緘」の印)の上、平成29年1月4日(水)までに保護者に送付するか、又は手渡すものとする。

(2) 提出方法

保護者は、厳封された「調査書」を下記期間内に県立中学校長に提出する。その場合、原則として**簡易書留**により郵送することとする。ただし、窓口を持参することも可とする。

(3) 提出期間

ア 郵送の場合

平成29年1月5日(木)から同月11日(水) **正午まで**に必着とする。

イ 窓口へ持参の場合

- ① 平成29年1月5日(木)から同月11日(水)までの期間とする。ただし、土、日、祝日は除く。
- ② 受付時間は午前9時から午後4時までとする。ただし、最終日1月11日(水)は午前9時から**正午まで**とし、それ以降は受け付けない。

## 5 入学者選抜検査

(1) 選抜検査方法

適性検査・作文・面接(以下「選抜検査」という。)

ア 適性検査

思考力・判断力・表現力など、小学校の教育課程に基づく学習によって身に付けた総合的な力をみる。

- ① 検査時間 50分間
- ② 配点 200点

イ 作文

資料や課題を分析して、自分の考えや意見をまとめ、筋道を立てて的確に文章で表現する力などをみる。

- ① 検査時間 45分間
- ② 配点 60点

ウ 面接

自分の考えや意志・希望等をわかりやすく伝えようとする表現力をみるとともに、6年間の中高一貫教育で学ぶ意欲・適性などをみる。

- ① 方法 5人程度の集団面接 20分間程度
- ② 配点 40点

(2) 選抜検査の期日及び会場

**平成29年1月14日(土) 岩手県立一関第一高等学校附属中学校**

所在地：岩手県一関市磐井町9-1 電話：0191-23-4311(事務室)

### (3) 選抜検査日程

時 間	日 程
9 : 0 0 ~ 9 : 3 0	受付 (所定の部屋へ入室、着席)
9 : 3 0 ~ 9 : 5 0	諸連絡
9 : 5 0 ~	作文諸注意、作文用紙配付
1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 4 5	<b>作文(45分間)</b>
1 0 : 4 5 ~ 1 0 : 5 5	休憩
1 0 : 5 5 ~	適性検査諸注意、検査用紙配付
1 1 : 0 5 ~ 1 1 : 5 5	<b>適性検査(50分間)</b>
1 1 : 5 5 ~ 1 2 : 4 0	昼食 (各自持参)・休憩
1 2 : 4 0 ~ 1 2 : 5 0	控室集合、面接諸注意
1 2 : 5 0 ~	<b>面接</b>
終了のめど 1 5 : 4 0	面接終了後、随時解散

### (4) 選抜検査を受ける上での留意事項

ア 午前9時30分までに所定の部屋 (以下「検査会場」という。) へ入室し着席すること。着席後、直ちに受検票を机の右上に置くこと。係員が志願者本人と確認した時点で受付を済ませたこととする。

イ 受付終了時刻時点で検査会場へ入室・着席していなかった場合は、原則として選抜検査を受けることはできない。また、当日選抜検査を受けられなかった者に対する予備日は設けない。

災害等で公的交通機関が遅れる等、不慮の事情で受付終了時刻までに受付を完了できない事態が発生した場合は、直ちに選抜検査会場校である県立中学校まで連絡すること。

ウ 休憩等の時間に検査会場を離れた場合、所定の時刻までに入室・着席すること。

入室・着席しない場合は原則として検査等を受けることはできない。

エ 保護者の検査会場への出入り及び児童の呼び出しはできない。

オ 選抜検査日に持参するもの

- ①受検票 ②鉛筆 (シャープペンシルも可) ③消しゴム ④上ばき
- ⑤三角定規 (ただし、分度器付きのもの、折りたたみ定規含むは禁止)
- ⑥コンパス ⑦靴入れ (下ばき入れ) ⑧昼食、水筒

また、上記のほかに、鉛筆削り、時計 (ただし、辞書機能やインターネット機能、計算機付きのものは禁止)、面接の待ち時間に読書するための小説本や必要に応じて常備薬・ティッシュ・ハンカチ・教科書・参考書は持参してよい。

カ 携帯電話等の通信機器の持ち込みについて

検査会場を含む敷地内への携帯電話等の持ち込みを禁止する。もし、携帯電話等を検査会場へ持ち込んでしまった場合は、作文の開始前に係員に提出すること。提出された携帯電話等の返却は面接終了以降とし、詳細は作文の実施前に連絡する。

作文の開始以降に携帯電話等を所持していることが明らかになった場合は、その時点以降の選抜検査を受けることはできない。また、それ以前の選抜検査については、すべて無効とする。

## 6 入学予定候補者の決定及び結果の通知

- (1) 県立中学校長は、選抜検査の結果により、入学志願者の意欲や適性等を総合的に判断して**入学予定候補者**を決定する。なお、その決定に当たっては、小学校長が作成した「調査書」を参考にする。
- (2) 県立中学校長は、志願者全員に対して「入学者選抜結果通知書」を、志願者が在籍する小学校長に対して「入学者選抜結果等一覧表」を、それぞれ郵便により送付する。  
上記書類は平成29年1月20日（金）までに投函することとする。  
なお、「入学者選抜結果通知書」には、志願者の適性検査・作文・面接の総合得点を記載し、通知するものとする。
- (3) 入学予定候補者については、その受検番号のみを岩手県教育委員会ホームページ上に掲載する。掲載する期間は、平成29年1月20日（金）15時頃から同月25日（水）15時頃までとする。なお、入学予定候補者の掲示による発表はしない。  
岩手県URL <http://www.pref.iwate.jp/>  
教育・文化→教育→学校教育→県立中学校入学者選抜  
→平成29年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校の入学予定候補者  
※システムの都合上、ホームページの更新時刻が前後する場合があります。
- (4) 選抜結果及び受検者の総合得点についての電話や口頭による問い合わせには対応しない。

## 7 入学予定候補者の手続

- (1) 入学予定候補者の保護者は、下記期間に必要書類を持参し、入学に関する手続を行うこと。
- (2) 手続期間  
ア 平成29年1月24日（火）、1月25日（水）とする。  
イ 受付時間は午前9時から**午後4時**までとし、それ以降は受け付けない。

## 8 入学予定者の手続

- (1) 入学予定者となった児童の保護者は、平成29年1月27日（金）午後4時までに、住所の存する市町村教育委員会へ出向き、交付された「入学予定者証明書」を添えて、児童を岩手県立一関第一高等学校附属中学校へ就学させる旨を届け出ること。
- (2) 入学予定者となった児童が、保護者の転勤等やむを得ない事情により入学を辞退しようとする場合、保護者は速やかに「入学辞退届」に入学予定者の受検票を添え、郵送または持参により窓口まで提出すること。（「入学予定者証明書」を市町村教育委員会へ提出していない場合は同証明書を含む。）

## 9 入学予定（候補）者の資格の取消し

入学者選抜等にかかる不正の事実が判明したときは、入学予定（候補）者である資格を取り消すこととする。

## 10 欠員補充

県立中学校長は、入学予定者の人数が募集定員に満たなかった場合欠員の補充を行う。

なお、欠員補充の期間は、原則として平成29年1月25日（水）午後4時から午後6時までとする。その場合の該当者への入学意志の確認は、入学願書の保護者欄に記載された連絡先へ県立中学校長から、電話で直接連絡する方法により行う。また、その際に手続の方法等についても説明する。

事務報告 2

平成29年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について

I 平成29年度岩手県立高等学校第1学年募集定員

1 平成29年3月中学校・義務教育学校後期課程卒業見込者数

平成29年3月卒業見込	平成28年3月卒業	増 減
11,927	12,092	-165

(教育委員会調査)

2 募集定員

**全日制** 10,120人 (昨年比-80人) 63校 (全て本校)

年度\学科	普通	普通・理数	総合	体育	小計
29	4,840	960	1,200	40	7,040
28	4,920	960	1,200	40	7,120
前年比	-80	0	0	0	-80

年度\学科	農業	工業	商業	水産	家庭	小計	合計
29	560	1,440	800	120	160	3,080	10,120
28	560	1,440	800	120	160	3,080	10,200
前年比	0	0	0	0	0	0	-80

**定時制** 560人 (昨年と同じ) 9校 (本校7校、分校2校)

年度\学科	普通	工業	合計
29	520	40	560
28	520	40	560
前年比	0	0	0

【備考】

- ・ 全て盛岡市立高等学校を除いた数値であること。
- ・ 入学者選抜を実施する学校数 66本分校 (63+9-6=66本分校)

全日制	定時制	全日制・定時制併設校
63校 (全て本校)	9校 (本校7校、分校2校)	6校 (盛工、一関一、大船渡、 釜石、宮古、福岡)



## II 主な入試日程

1	入試説明会（6教育事務所）	10月25日（火）～10月31日（月）
2	推薦入学者選抜実施	1月26日（木）
3	推薦入学者合格通知	2月2日（木）
4	一般（定時制成人枠を含む）・連携型・杜陵高校定時制(前期日程)入学者選抜実施	3月9日（木）
5	合格者発表	3月16日（木）
6	二次募集・杜陵高校定時制（後期日程）入学者選抜実施	3月24日（金）
7	二次募集・杜陵高校定時制（後期日程）合格者発表	3月28日（火）
8	杜陵高校通信制入学者選抜	4月2日（日）
9	杜陵高校通信制合格者発表	4月5日（水）

## III 平成29年度入学者選抜の方法

### 1 推薦入学者選抜

#### (1) 対象学科

全日制・定時制の全学科において実施することができる。

#### (2) 応募資格

次のア～オの全てに該当する者とする。

ア 岩手県内の中学校等を平成29年3月に卒業する見込みの者、若しくは平成28年3月に卒業した者

又は、東日本大震災津波の被災により、岩手県内から県外に転学し、平成29年3月に中学校等を卒業する見込みの者、若しくは平成28年3月に中学校等を卒業した者のうち、いずれか一方に該当することを岩手県教育委員会が認めた者

なお、中学校等とは、中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部を指す

イ 当該高等学校に合格した場合、学力調査を受けること及び入学を確約できる者

ウ 当該高等学校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者

エ 次の応募資格A又は応募資格Bに該当する者

**応募資格A** スポーツ、文化・芸術、特別活動（生徒会活動等）、その他校内外の活動（ボランティア活動、地域貢献活動等）において顕著な実績を持つ者

**応募資格B** 将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者

オ 当該高等学校の示す推薦基準を満たしている者（推薦入学者選抜を実施する各高等学校の各学科（学系・コース）の推薦基準は、別に定める。）

#### (3) 募集定員

ア 定員の10%以内とする。

ただし、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系及び芸術学系については、50%以内とする。

なお、定員の割合は5%毎とする。

イ 県のスポーツ特別強化指定校においては、当該指定競技に係る人数を推薦募集定員の中に入れることとする。

ウ 推薦入学者選抜実施校の各学科（学系・コース）の推薦募集定員は、別に示す。

#### (4) 通学区域

学区の制限を受けないものとする。

#### (5) 出願制限

ア 出願は、本校又は分校1校に限るものとする。

イ 志願先高等学校に二つ以上の学科（学系・コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願することができる。

ただし、異なる適性検査を実施する学科（学系・コース）への出願は二つまでとする。学科（学系・コース）により推薦基準が異なる場合には、志願する全ての学科（学系・コース）の推薦基準を満たさなければならないものとする。

ウ 岩手県立高等学校の推薦・連携型入学者選抜と盛岡市立高等学校の推薦入学者選抜に併願することはできない。

エ 一関第一高等学校（全日制課程）の入学決定通知書の交付を受けた者は、推薦入学者選抜に出願することはできない。

#### (6) 検査内容

ア 調査書、志願理由書及び面接

イ 高等学校によっては、小論文又は作文、適性検査を実施することができる。

（各高等学校各学科（学系・コース）の検査内容は、別に定める。）

#### (7) 選抜方法

調査書、志願理由書及び面接、さらに高等学校によっては、小論文又は作文、適性検査等の結果により行う。（各高等学校各学科（学系・コース）の選抜方法は別に定める。）

#### (8) 合格者への対応

ア 高等学校長は、合格者を対象とする学力調査を、3月9日（木）に実施する。

イ 調査教科は5教科（国語、数学、社会、英語、理科）とし、一般入学者選抜学力検査と同じ問題・時程で実施する。

なお、学力調査と一般入学者選抜学力検査は、原則として部屋を別にして実施する。

ウ 高等学校長は、合格者が正当な事由なく学力調査を欠席した場合に限り、高校教育課長と協議の上、合格を取り消すことがある。

エ 学力調査の結果については、各高等学校が本人に通知する。

なお、通知の方法は各高等学校が定める。

## 2 一般入学者選抜

### (1) 応募資格

次の各項のいずれかに該当する者

ア 平成29年3月に中学校等を卒業する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者

ウ 学校教育法施行規則第95条の規定に該当する者

### (2) 通学区域

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則による。

ア 普通科においては、学区による。

なお、普通科の専門コース・学系（不来方高等学校の人文理数学系及び花巻南高等学校の人文科学自然科学学系は除く。）については、全県学区とする。

イ 岩手県立高等学校の通学区域に関する規則第4条及び第5条の規定により、普通科の学区外許容率は、定員の10%の範囲内とする。ただし、学区内からの出願者数が募集定員に満たないとき、学区外許容率は定員の10%を超えることができる。

ウ 東日本大震災津波の被災による志願者は、特別入学志願者取扱要領及び岩手県立高等学校の通学区域に関する規則第4条第5号の規定により対応する。

### (3) 出願制限

ア 出願は、本校又は分校のいずれか1校に限るものとする。

イ 志願先高等学校に二つの課程（全日制、定時制）又は二つ以上の学科（学系、コース）があ

る場合には、第2、第3志望まで出願できる。

ただし、異なる適性検査を実施する学科（学系、コース）への出願は二つまでとする。

ウ 多部制の定時制課程においては、部の間で第2志望まで出願できる。

エ 推薦入学者選抜の合格者は、出願できない。

オ 盛岡市立高等学校の一般入学者選抜と併願することはできない。

カ 一般入学者選抜（定時制課程成人枠）及び連携型入学者選抜と併願することはできない。

キ 一関第一高等学校（全日制課程）の入学決定通知書の交付を受けた者は、出願できない。

(4) 検査内容

ア 学力検査（国語、数学、社会、英語、理科の5教科）

イ 調査書

ウ 面接

エ 高等学校によっては小論文又は作文、適性検査を実施

(5) 日程

ア 集 合 8:30

イ 学力検査 9:00～14:40（各教科50分）

ウ 面 接 学力検査終了後（高等学校によっては、小論文又は作文、適性検査を実施）

(6) 出題方針

中学校学習指導要領に示されている各教科の目標や内容に則し、基礎的・基本的な事項について検査できるようにするとともに、理解力や思考力をはじめ、表現力等についても検査できるようにする。

(7) 各検査の配点

学力検査（5教科各100点満点）	500点		1000点
調査書（9教科の1・2・3年の評定）	440点	500点	
面接、小論文又は作文、適性検査（実技等）の合計	60点		

(8) 面接

自己アピールカード及び調査書を踏まえて実施する。

(9) 小論文又は作文

各高等学校長の判断により、小論文又は作文を課することができる。

(10) 適性検査（実技）

体育科、体育コース、体育学系、芸術学系、スポーツ健康科学学系において実施する。

（該当校は、盛岡南高等学校、不来方高等学校、花巻南高等学校）

(11) 選抜方法

各高等学校長が次の7通りの選抜方法から選択・決定することとし、学校、学科（学系・コース）の特色に配慮しながら、その教育において必要とされる能力・適性等を総合的に判定して行う。選考にあたっては 選考Ⅰ → 選考Ⅱ → 選考Ⅲ の順で行うこととする。

選抜方法	選考Ⅰ	選考Ⅱ	選考Ⅲ
①	A選考 100%		
②	A選考 70%	B選考 30%	
③	A選考 70%	B選考 20%	C選考 10%
④	A選考 70%	B選考 10%	C選考 20%
⑤	A選考 70%	C選考 30%	
⑥	A選考 70%	C選考 20%	B選考 10%
⑦	A選考 70%	C選考 10%	B選考 20%

なお、ABCの各選考における[学力検査：調査書・面接等]の得点割合は、以下のとおりとする。

【A選考】 5：5

【B選考】 3：7

【C選考】 7：3

### 3 一般入学者選抜（定時制課程成人枠）

- (1) 対象学科  
定時制の全学科
- (2) 応募資格  
平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた者で、次の各項のいずれかに該当する者  
ア 中学校等を卒業した者  
イ 学校教育法施行規則第 95 条の規定に該当する者
- (3) 募集人数  
若干名
- (4) 検査内容  
ア 面接  
イ 作文又は小論文  
ウ 高等学校によっては、適性検査を実施することができる。

### 4 二次募集

- (1) 二次募集を行う学科（学系・コース）  
欠員が、定員の 10%以上である学科（学系・コース）で実施する。ただし、欠員が定員の 10%未満でも、学校の判断で実施することができる。  
なお、杜陵高等学校は二次募集を行わない。
- (2) 応募資格  
ア 平成 29 年度岩手県立高等学校一般入学者選抜（定時制課程成人枠含む）又は連携型入学者選抜、若しくは盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検し、合格しなかった者。  
イ やむを得ない事情で、平成 29 年度岩手県立高等学校一般入学者選抜（定時制課程成人枠含む）又は連携型入学者選抜、若しくは盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検しなかった者

### 5 連携型入学者選抜（軽米高等学校・葛巻高等学校）

- (1) 応募資格  
平成 29 年 3 月に連携型中学校（軽米高等学校は軽米町立軽米中学校。葛巻高等学校は葛巻町立葛巻中学校、葛巻町立小屋瀬中学校、葛巻町立江刈中学校）を卒業する見込みの者
- (2) 募集定員  
軽米高等学校及び葛巻高等学校の定員を上限とする。
- (3) 選抜内容  
国語、数学、社会、英語、理科の 5 教科に関する基礎学力を確認のうえ、連携型中学校長から提出された調査書及び面接の結果に基づき合格者を決定する。  
なお、基礎学力の確認は、一般入学者選抜学力検査で使用する検査問題と同じ問題で実施する。

### 6 一関第一高等学校附属中学校からの入学（併設型中高一貫教育校）

- (1) 一関第一高等学校附属中学校の生徒が一関第一高等学校（全日制課程）に入学を希望する場合は、一関第一高等学校附属中学校長（以下「附属中学校長」という。）に入学願を提出する。ただし、入学を希望しない場合は、その旨を記載した書面（入学辞退届）を附属中学校長に提出する。
- (2) 附属中学校長は、入学願を一関第一高等学校長に提出する。
- (3) 入学願を提出した者については、一関第一高等学校（全日制課程）への入学者選抜を行わない。
- (4) 入学辞退届を提出した者については、当該年度において一関第一高等学校（全日制課程）に出願することはできない。ただし、一関第一高等学校長が認めた場合はこの限りでない。
- (5) 入学者の決定・発表

- ア 一関第一高等学校長は、附属中学校長に「入学決定通知書」を送付する。
  - イ 入学決定者数の発表は、平成 29 年 1 月 10 日（火）に行う。
- (6) 入学決定通知書の交付を受けた者は、推薦入学者選抜及び一般入学者選抜に出願することはできない。

## **7 杜陵高等学校定時制の選抜**

杜陵高等学校本校及び奥州校定時制の入学者選抜は、前期日程・後期日程で実施する。

- (1) 前期日程は、一般入学者選抜と同じ日程であり、定員は本校 100 名（1・2 部 80 名、3 部 20 名）、奥州校 60 名（昼間部 30 名、夜間部 30 名）である。
- (2) 後期日程は、二次募集と同日に実施し、定員は本校 60 名（1・2 部 40 名、3 部 20 名）、奥州校 20 名（昼間部 10 名、夜間部 10 名）である。  
後期日程の願書は、杜陵高等学校本校及び奥州校で配付する。

## **8 杜陵高等学校通信制の選抜**

杜陵高等学校本校及び宮古分室、奥州校通信制の入学者選抜は、提出された書類、作文、面接によって行う。願書は、通信制課程について説明のうえ配付する。

## 平成28年度全国高等学校総合体育大会の結果について

- 1 会 期 平成28年 7月27日(水)～8月20日(土)  
 2 会 場 岡山県、鳥取県、島根県、山口県、広島県、和歌山県  
 3 参加数 (競技数) 全29競技 (参加者数) 選手537名 ※昨年度564名  
 4 成 績 15競技 38種目入賞(8位以内) ※昨年度 14競技46種目入賞

## 【1位】2種目(H27:9種目)

T.N	S.N	競技名	種目名	個人・団体名	*は団体
1	1	カヌー	女子総合	* 不来方高校	
2	2	ボート	男子舵手つきクォドルプル	黒沢尻工業高校(川村,菅野,阿部,熊谷,小原)	

## 【2位】3種目(H27:3種目)

3	1	弓道	男子個人	池田和貴(一関工業)	
4	2	カヌー	女子カヤックフォア 500m	不来方高校(中前,中島,小笠原,菊池)	
5	3	カヌー	女子カヤックフォア 200m	不来方高校(中前,中島,小笠原,菊池)	

## 【3位】6種目(H27:4種目)

6	1	ホッケー	女子	* 不来方高校	
7	2	登山	女子	* 盛岡第一高校	
8	3	ボクシング	男子ミドル級	照井湧真(黒沢尻工業)	
9	4	なぎなた	女子演技	一戸高校(山火,熊谷)	
10	5	カヌー	女子カヤックペア 200m	不来方高校(中前,中島)	
11	6	ヨット	男子420級	宮古高校(佐香,長沢)	

## 【4位】4種目(H27:5種目)

12	1	自転車	男子スプリント	安倍大成(紫波総合)	
13	2	ウエイトリフティング	男子85kg級スナッチ	佐藤樹(岩谷堂)	
14	3	カヌー	女子カヤックシングル200m	中前いつき(不来方)	
15	4	ヨット	女子420級	宮古商業高校(佐々木,前川)	

## 【5位】9種目(H27:8種目)

16	1	ホッケー	男子	* 沼宮内高校	
17	2	相撲	男子団体	* 平舘高校	
18	3	フェンシング	男子エペ	佐々木功喜(一関第二)	
19	4	フェンシング	女子サーブル	菅原知(一関第二)	
20	5	ボクシング	男子ピン級	肝付賢哉(花巻農業)	
21	6	ボクシング	男子ウェルター級	碓井寿季(黒沢尻工業)	
22	7	カヌー	男子カヌーシングル 500m	下屋敷泰成(不来方)	
23	8	カヌー	女子カヤックシングル 500m	中前いつき(不来方)	
24	9	カヌー	女子カヤックペア 500m	不来方高校(中前,中島)	

## 【6位】2種目(H27:6種目)

25	1	ボート	男子ダブルスカル	宮古高校(盛合,信夫)	
26	2	弓道	女子個人	前島彩乃(花巻北)	

## 【7位】11種目(H27:5種目)

27	1	新体操	男子団体	* 盛岡市立高校	
28	2	自転車	男子1000mタイムトライアル	中野慎詞(紫波総合)	
29	3	ボート	男子シングルスカル	鳥居勢矢(山田)	
30	4	ボート	女子ダブルスカル	山田高校(織笠,吉川)	
31	5	陸上競技	男子やり投	目時峻(盛岡第四)	
32	6	ウエイトリフティング	男子94kg級スナッチ	菊池和真(岩谷堂)	
33	7	カヌー	男子カヌーフォア 500m	不来方高校(下屋敷,林,高野,朽木)	
34	8	カヌー	男子カヌーシングル 200m	下屋敷泰成(不来方)	
35	9	ヨット	男子420級	宮古商業高校(加藤,向口)	
36	10	ヨット	女子FJ級	宮古商業高校(工藤,三浦)	
37	11	水泳	男子板飛び込み	杉村征導(盛岡商業)	

## 【8位】1種目(H27:6種目)

38	1	ヨット	男子FJ級	宮古商業高校(前川,飛沢)	
----	---	-----	-------	---------------	--

## 平成28年度全国中学校体育大会の結果について

- 1 会 期 平成28年 8 月17日（水）～ 8 月25日（木）
- 2 会 場 北信越ブロック
- 3 参加数 （競技数）全17競技中11競技に参加 ※昨年度13競技  
                 バスケ、サッカー、軟式野球、新体操、バドミントンを除く種目  
                 （参加者数）選手193名 ※昨年度276名
- 4 成 績 4競技7種目入賞（8位以内） ※昨年度6競技11種目入賞

### 【2位】

T.N	S.N	競 技 名	種 目 名	個人・団体名 *は団体
1	1	陸上競技	男子3000m	佐々木 壘（盛岡市立河南中学校）

### 【3位】

T.N	S.N	競 技 名	種 目 名	個人・団体名
2	1	水泳競技	女子200mバタフライ	中 島 千咲代（滝沢市立滝沢中学校）

### 【4位】

T.N	S.N	競 技 名	種 目 名	個人・団体名
3	1	陸上競技	男子1500m	佐々木 壘（盛岡市立河南中学校）

### 【5位】

T.N	S.N	競 技 名	種 目 名	個人・団体名 *は団体
4	1	柔道	女子5 2k級	盛 内 茉彩紀（花巻市立大迫中学校）
5	2	柔道	女子7 0k超級	谷 地 望（雫石町立雫石中学校）
6	3	ホッケー	女子	* 岩手町立沼宮内中学校
7	4	ホッケー	女子	* 岩手町立川口中学校

議案第 17 号

岩手県立博物館協議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて  
次のとおり岩手県立博物館協議会委員の任命及び解任をすることについて、議決  
を求める。

1 任命（平成 28 年 10 月 1 日付）

職 名 等	氏 名
一般社団法人岩手県 PTA 連合会副会長	畠山 克明

2 解任（平成 28 年 9 月 30 日付）

職 名 等	氏 名
一般社団法人岩手県 PTA 連合会顧問	米澤 慎悦

平成 28 年 9 月 12 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

岩手県立博物館協議会委員の任命及び解任をしようとするものである。これが、  
この議案を提出する理由である。



## 岩手県立博物館協議会委員（案）

(H27.6.23～H29.6.22)

分野	現職	氏名	年齢	性別	居住地	年数	兼任	
学校教育関係者	盛岡市立松園小学校校長	たかはし しんじ 高橋 眞司	58	男	盛岡市	1期		
	盛岡市立下橋中学校校長	たかはし きよし 高橋 清之	58	男	盛岡市	2期		
	岩手県立盛岡第四高等学校校長	たかはし たかし 高橋 隆	60	男	盛岡市	1期		
社会教育関係者	岩手県青年団体協議会会長	まつだ えみこ 松田 恵美子	30	女	隣高田市	1期		
	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会理事	おおさわ りつこ 大沢 リツ子	69	女	久慈市	1期		
	一般社団法人岩手県PTA連合会副会長	はたけやま かつあき 畠山 克明	48	男	岩泉町	新任		
学識経験者	団体推薦	石神の丘美術館主任学芸員	さいとう ももこ 齋藤 桃子	38	女	岩手町	2期	
		八幡平市教育委員会教育長	えんどう けんえつ 遠藤 健悦	73	男	八幡平市	2期	
		岩手県立博物館友の会会員	まえだ ちかこ 前田 千香子	50	女	雫石町	4期	
		株式会社岩手日報社編集局整理部次長	すずき たもん 鈴木 多聞	43	男	盛岡市	2期	
	個人	岩手大学教授	なごし としゆき 名越 利幸	60	男	盛岡市	4期	
		岩手大学教授	かんの ふみお 菅野 丈夫	60	男	盛岡市	1期	
		画家・民俗芸能研究者	いいさか まき 飯坂 真紀	61	女	盛岡市	3期	
		盛岡ふるさとガイドの会会員	ぬまさと ゆきこ 沼里 由紀子	74	女	滝沢市	2期	

※年齢：平成28年10月1日現在

チェック項目	平成28年8月現在	今回
◎ 委員数【15人以内】	14人	14人（新任1人）
◎ 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならないこと	男：女 57.1%：42.9%	男：女 57.1%：42.9%
◎ 若手委員（50歳未満登用率【25%以上目標】）	21.4%（3/14）	28.6%（4/14）
◎ 委員の平均年齢	56.3歳	55.9歳
◎ 在任期間8年超	なし	なし

## 議案第18号

教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて  
次のとおり教育表彰の受賞者を決定することについて、議決を求める。

### 事績顕著者

#### 1 学校教育分野（2団体）

##### (1) 住田町立世田米中学校

多年にわたり木工製作技術の向上を図るとともに森林環境学習に積極的に取り組み、町の主要産業である林業について学習を深めるなど教育の振興に優れた成果を挙げた。

##### (2) 岩手県立遠野緑峰高等学校

廃棄されるホップの蔓から和紙を作り出す製法を確立するとともに、和紙製品の開発普及に努め、産業の振興と地域の活性化に優れた成果を挙げた。

#### 2 学校保健分野（学校医13名、学校歯科医18名、学校薬剤師6名の計37名）

(学校医)

- (1) そとかわ 外川 ただし 正（盛岡市）
- (2) まいさわ 米沢 しゅんいち 俊一（盛岡市）
- (3) もり 森 しげお 茂雄（八幡平市）
- (4) しま 嶋 まこと 信（八幡平市）
- (5) かわもりた 川守田 やすひこ 安彦（紫波町）
- (6) きむら 木村 むねたか 宗孝（矢巾町）
- (7) おぼら 小原 すすむ 進（矢巾町）
- (8) いしばし 石橋 はるみ 春美（北上市）
- (9) みなみ 南 よしふみ 吉文（奥州市）
- (10) いとう 伊藤 ともお 知夫（奥州市）
- (11) とみた 富田 こ ナナ子（奥州市）
- (12) なかの 中野 じゅんぺい 淳平（一関市）
- (13) すすきだ 薄田 とおる 徹（一関市）

多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(学校歯科医)

- (14) おかだ としお 岡田 俊夫 (盛岡市)
- (15) ささき たもつ 佐々木 保 (盛岡市)
- (16) みた とおる 三田 透 (盛岡市)
- (17) まつしま しょうぞう 松嶋 正造 (盛岡市)
- (18) うしぶくろ のりみち 牛袋 徳道 (盛岡市)
- (19) きくづき けいご 菊月 圭吾 (盛岡市)
- (20) まえだ みつよし 前田 光義 (八幡平市)
- (21) やまぐち かずしげ 山口 一成 (八幡平市)
- (22) はたけやま よしひこ 畠山 良彦 (花巻市)
- (23) おいかわ ただお 及川 忠男 (北上市)
- (24) ほそかわ きよたか 細川 貴孝 (大船渡市)
- (25) みちまた はじめ 道又 元 (宮古市)
- (26) おおはし ゆか 大橋 由香 (久慈市)
- (27) たぐち あつし 田口 淳 (久慈市)
- (28) よしだ あつこ 吉田 阿子 (久慈市)
- (29) いわもと かずお 岩本 一夫 (久慈市)
- (30) やえがし いくお 八重樫 育男 (久慈市)
- (31) せきあい まさゆき 関合 正行 (久慈市)

多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(学校薬剤師)

(32) <sup>やまだ</sup>山田 <sup>ひろし</sup>裕司 (花巻市)

(33) <sup>あべ</sup>阿部 <sup>じゅんこ</sup>淳子 (一関市)

(34) <sup>にいぶち</sup>新淵 <sup>ひろし</sup>宏 (久慈市)

(35) <sup>ひむかい</sup>日向 <sup>としあき</sup>利明 (久慈市)

(36) <sup>にいぶち</sup>新淵 <sup>こうこ</sup>光子 (久慈市)

(37) <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>わかこ</sup>和可子 (普代村)

多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

### 3 社会教育分野 (1名、5団体)

(社会教育活動の指導者)

(1) <sup>せがわ</sup>瀬川 <sup>あいこ</sup>愛子 (八幡平市)

多年にわたり地域における女性団体の指導者としてその活動を積極的に牽引するなど、本県の社会教育の振興に多大の貢献をした。

(P T A 団体)

(2) 洋野町立種市幼稚園父母の会

幼稚園行事に積極的に協力するとともに、子育て講演会を開催し家庭の教育力向上に取り組むなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(3) 平泉町立平泉小学校 P T A

地域学習を推進するとともに、教育振興運動実践区との連携により読書活動や防犯活動に取り組むなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(4) 釜石市立栗林小学校 P T A

地域資源を生かした親子体験活動に取り組むとともに、郷土芸能の伝承活動に尽力するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(5) 岩手県立久慈高等学校 P T A

行事参加率の向上に積極的に取り組むとともに、会報の充実を図るなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(6) 岩手県立釜石祥雲支援学校 P T A

交流会や講演会の充実に積極的に取り組むとともに、東日本大震災後の保護者の心のケアに対応した活動を開催するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

#### 4 スポーツ分野（12名、2団体）

（競技スポーツ）

- (1) こばやし りょうゆう 小林 陵 侑（八幡平市出身）  
スキー競技において優秀な成績を収めるとともに、県民に夢と感動を与え、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (2) むらたけ ひろのぶ 村竹 啓恒（二戸市）  
スケート競技において優秀な成績を収めるとともに、県民に夢と感動を与え、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (3) はるもと みのる 春本 実（北上市）  
多年にわたりパワーリフティング競技の普及向上に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (4) さとう りきお 佐藤 力男（奥州市）  
多年にわたりウエイトリフティング競技の普及向上に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (5) すずき しゅんすけ 鈴木 俊 祐（盛岡市）  
多年にわたり地域におけるソフトボール競技の普及向上に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (6) たかはし あつし 高橋 篤（金ケ崎町）  
多年にわたり地域におけるソフトボール競技の普及向上に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (7) さ さ き まさひと 佐々木 正人（盛岡市）  
多年にわたりホッケー競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (8) さとう ゆきひさ 佐藤 幸久（花巻市）  
多年にわたり登山競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (9) きやなぎ ただひこ 鬼柳 忠彦（滝沢市）  
多年にわたりボクシング競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (10) ふじい まさふみ 藤井 雅史（盛岡市）  
多年にわたり陸上競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、スポーツの振興に多大の貢献をした。

(生涯スポーツ)

- (11) <sup>はやさか とみお</sup> 早坂 富夫 (岩手町)  
多年にわたり地域におけるスポーツの普及に尽力し、生涯スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (12) <sup>ささき とよあき</sup> 佐々木 豊秋 (住田町)  
多年にわたり地域におけるスポーツの普及に尽力し、生涯スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (13) <sup>ひがしくりやがわ</sup> コミスポクラブ 東 厨 川 (盛岡市)  
総合型地域スポーツクラブとしての活動を通じて地域コミュニティの活性化を図るなど、スポーツの振興に多大の貢献をした。
- (14) <sup>いっぽんざいだんほうじんかねがさきちょうしょうがい</sup> 一般財団法人金ヶ崎町生涯スポーツ事業団 (金ヶ崎町) <sup>じぎょうだん</sup>  
スポーツ教室等を通じ地域住民の健康増進を図るとともに、指導者の育成に取り組むなど、生涯スポーツの振興に多大の貢献をした。

5 学術文化分野 (1名、2団体)

(芸術・文化)

- (1) <sup>さわふじ はんじろう</sup> 澤藤 範次郎 (金ヶ崎町)  
多年にわたり六原張子の制作に取り組むとともに文筆家として活躍するなど、本県の芸術文化の振興に多大の貢献をした。
- (2) <sup>いちのせき</sup> 一 関 カメラクラブ (一関市)  
多年にわたり郷土の記録写真を撮影し地域の魅力の発信に貢献するとともに、写真芸術の向上と発展に多大の貢献をした。

(文化財)

- (3) <sup>しずくいししだんかい</sup> 滴 石史談会 (雫石町)  
多年にわたり雫石地区の歴史と文化の研究に尽力するとともに、文化財活用の促進と愛護思想の普及に多大の貢献をした。

6 教育行政分野 (8名)

- (1) <sup>ふじなみ ようこう</sup> 藤波 洋香 (奥州市)
- (2) <sup>さとう ひでみち</sup> 佐藤 秀道 (紫波町)
- (3) <sup>ふじさわ としあき</sup> 藤澤 俊明 (遠野市)
- (4) <sup>すずき いさお</sup> 鈴木 功 (一関市)

(5) いとう しょうじ  
伊藤 正治 (大槌町)

(6) あおさわ じゅんこ  
青澤 侑子 (洋野町)

(7) きよかわ ひろし  
清川 泰 (二戸市)

(8) はとおか のりお  
鳩岡 矩雄 (二戸市)

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

平成28年9月12日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

理由

教育表彰として外川 正ほか58個人及び住田町立世田米中学校ほか10団体を表彰しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

## 議案第 18 号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

事績顕著者の主な功績内容は、以下のとおり

## 1 学校教育分野

候補団体名	功績の内容
住田町立 世田米中学校	【活動歴】約 30 年 【受賞歴】 H27 ものづくり日本大賞（文部科学大臣賞） 他 多年にわたり木工製作技術の向上を図る教育活動を展開し、多数のコンクールで優秀な成績をおさめるとともに「森林環境学習」に積極的に取り組み、町の主要産業である林業や森林資源の循環利用による持続可能な社会の構築等について学習を深めるなど教育の振興に優れた成果を挙げた。
岩手県立 遠野緑峰高等学校	【活動歴】約 7 年 【受賞歴】 H26 日本学校農業クラブ全国大会最優秀賞 他 市特産のホップの蔓から和紙を作り出す製法を確立するとともに、環境に優しい和紙製造の研究と和紙製品の普及活動に取り組みむなど、ホップ農家の所得向上と地域の 6 次産業化の推進に優れた成果を挙げた。

## 2 学校保健分野

推薦：37 名

## 3 社会教育分野

## (1) 社会教育活動の指導者

候補者名	功績の内容
瀬川 愛子 (80) (八幡平市婦人会 連絡協議会会長)	【活動歴】10 年 (副会長 2 年、会長 8 年) 【受賞歴】なし 多年にわたり地域における女性団体の指導者としてその活動を牽引するなど、本県の社会教育の振興に多大な貢献をした。

## (2) P T A 団体

候補団体名	功績の内容
洋野町立 種市幼稚園父母の会	【活動歴】25 年 【受賞歴】なし 行事の運営や環境整備に積極的に協力する支援体制が構築されているとともに、子育て講演会を開催し家庭の教育力向上に取り組むなど、教育の振興に多大な貢献をした。
平泉町立 平泉小学校 P T A	【活動歴】62 年 【受賞歴】なし 地域学習を推進するとともに、教育振興運動実践区との連携により読書活動や防犯・安全活動に取り組むなど、教育の振興に多大な貢献をした。



釜石市立 栗林小学校PTA	【活動歴】37年 【受賞歴】なし 地域資源を生かした親子で学び合う多様な体験活動に取り組むとともに、郷土芸能の伝承活動に尽力するなど、教育の振興に多大な貢献をした。
岩手県立 久慈高等学校PTA	【活動歴】68年 【受賞歴】H27 全国高P連会長表彰 PTA行事の参加率向上に積極的に取り組むとともに、会報の充実を図るなど、教育の振興に多大な貢献をした。
岩手県立 釜石祥雲支援学校PTA	【活動歴】40年 【受賞歴】なし PTA交流会や講演会の充実に積極的に取り組むとともに、東日本大震災後の保護者の心のケアに対応した活動を毎月開催するなど、教育の振興に多大な貢献をした。また、昨年度は創立40周年記念事業を企画し、記念誌の発行等に尽力した。

#### 4-1 スポーツ分野（競技スポーツ）

##### (1) 全国レベル以上の競技者

候補者名	所属	功績の内容
小林 陵侑 (19) (スキー)	土屋ホーム	【受賞歴】H26 岩手県スポーツ賞 【略 歴】盛岡中央高等学校⇒土屋ホーム 【成 績】H27 ワールドカップ（ポーランド） 個人7位、団体8位 H27 国民体育大会 少年コンパインド 優勝
村竹 啓恒 (26) (スケート)	岩手県体育協会	【受賞歴】H27 岩手県スポーツ賞 【略 歴】向上高等学校⇒神奈川大学⇒岩手県体育協会 【成 績】H27 エバーシアード冬季大会（スペイン）1000m4位、 500m5位 H28 国民体育大会 1000m 1位、500m 4位

##### (2) 県規模のスポーツ団体役員

候補者名	役職	功績の内容
春本 実 (62)	岩手県パワーリフティング協会会長	【活動歴】20年（事務局長16年、会長4年） 【受賞歴】H23 日本パワーリフティング協会功労賞 多年にわたりパワーリフティング競技の普及振興、競技力向上に尽力するとともに、協会の発展に多大な貢献をした。
佐藤 力男 (67)	岩手県ウエイトリフティング協会会長	【活動歴】20年（副会長4年、会長16年） 【受賞歴】なし 多年にわたりウエイトリフティング競技の普及振興、競技力向上に尽力するとともに、協会の発展に多大な貢献をした。

(3) 市町村規模のスポーツ団体役員

候補者名	役職	功績の内容
鈴木 俊祐 (75)	盛岡市ソフトボール協会 会長	【活動歴】 35年 (副会長19年、会長12年) 【受賞歴】 H9 (財) 日本ソフトボール協会会長表彰 多年にわたり地域におけるソフトボール競技の普及振興、競技力向上に尽力するとともに、協会の発展に多大な貢献をした。
高橋 篤 (78)	金ケ崎町ソフトボール協会 会長	【活動歴】 23年 (会長23年) 【受賞歴】 H27 岩手県体育協会体育功労者表彰 多年にわたり地域におけるソフトボール競技の普及振興、競技力向上に尽力するとともに、協会の発展に多大な貢献をした。

(4) スポーツ活動の指導者

候補者名	所属	功績の内容
佐々木 正人 (49) (ホッケー)	沼宮内高等学校	【活動歴】 20年 【受賞歴】 H26 教育長表彰 多年にわたりホッケー競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、本県ホッケー競技の振興に多大な貢献をした。
佐藤 幸久 (49) (登山)	盛岡第一高等学校	【活動歴】 26年 【受賞歴】 H27 教育長表彰 多年にわたり登山競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、本県登山競技の振興に多大な貢献をした。
鬼柳 忠彦 (46) (ボクシング)	江南義塾盛岡高等学校	【活動歴】 24年 【受賞歴】 H27 文科優秀教職員表彰 多年にわたりボクシング競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、本県ボクシング競技の振興に多大な貢献をした。
藤井 雅史 (38) (陸上)	盛岡第一高等学校	【活動歴】 16年 【受賞歴】 H27 文科優秀教職員表彰 多年にわたり陸上競技の指導者として競技者の育成指導に尽力し、本県陸上競技の振興に多大な貢献をした。

4-2 スポーツ分野 (生涯スポーツ)

(1) 市町村規模のスポーツ団体役員

候補者名	役職	功績の内容
早坂 富夫 (75)	岩手町体育協会会長	【活動歴】 39年 (理事長3年、副会長2年、会長10年) 【受賞歴】 H20 岩手県体育協会功労賞 地域におけるスポーツ団体等の要職を歴任し、スポーツの普及に尽力するとともに、生涯スポーツの振興に多大な貢献をした。

佐々木 豊秋 (66)	住田町スポーツ推進委員協議会会長	【活動歴】18年(副会長11年、会長7年) 【受賞歴】H25 全国スポーツ推進委員協議会功労者表彰 地域におけるスポーツ団体等の要職を歴任し、スポーツの普及に尽力するとともに、生涯スポーツの振興に多大な貢献をした。
-------------	------------------	---

## (2) スポーツ団体

候補団体名	功績の内容
コムスポクラブ東厨川	【活動歴】9年 【受賞歴】なし 総合型地域スポーツクラブとしての活動を通じて地域コミュニティの活性化を図るなど、スポーツの振興に多大な貢献をした。
一般財団法人金ヶ崎町生涯スポーツ事業団	【活動歴】22年 【受賞歴】なし スポーツ教室等を開催し地域住民の健康増進を図るとともに、指導者の育成に積極的に取り組むなど、生涯スポーツ振興に多大な貢献をした。

## 5-1 学術・文化分野（芸術・文化）

### (1) 個人

候補者名	役職	功績の内容
澤藤 範次郎 (72)	民芸品作家、文筆家	【活動歴】51年【受賞歴】H15 岩手日報文学賞随筆賞 等 多年にわたり和紙面づくりなど民芸品制作に従事しながら随筆や脚本を手掛ける文筆家として活躍するとともに、金ヶ崎町芸術文化協会会長を務めるなど、芸術文化活動の進展に多大な貢献をした。

### (2) 団体

候補団体名	功績の内容
一関カメラクラブ	【活動歴】50年【受賞歴】H27 第33回岩手日日文化賞 多年にわたり郷土の記録写真を撮影し地域の魅力の発信に貢献するとともに、写真芸術の発展に多大な貢献をした。

## 5-2 学術・文化分野（文化財）

候補団体名	功績の内容
滴石史談会	【活動歴】50年 【受賞歴】なし 多年にわたり郷土史教室や研究発表会を開催するなど雫石地区の歴史と文化の研究に尽力するとともに、文化財活用の促進と文化財愛護思想の普及に多大な貢献をした。

## 6 教育行政分野

候補者名	役職	功績の内容
藤波 洋香 (63)	元 岩手県教育委員会委員	多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大な貢献をした。
佐藤 秀道 (63)	前 紫波町教育委員会委員	
藤澤 俊明 (69)	前 遠野市教育委員会教育長	
鈴木 功 (72)	一関市教育委員会委員長	
伊藤 正治 (67)	大槌町教育委員会教育長	
青澤 侑子 (72)	前 洋野町教育委員会委員長	
清川 泰 (70)	二戸市教育委員会委員長	
鳩岡 矩雄 (68)	二戸市教育委員会教育長	

議案第 19 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果を別添のとおりとすることについて、議決を求める。

平成 28 年 9 月 12 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づく教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をし、並びにその結果に関する報告書を別添のとおりとし、併せて同項の規定に基づきこの報告書を議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

**平成27年度**  
**教育委員会事務点検評価報告書（案）**  
**（主要施策の成果に関する説明書）**

**平成28年 9 月**  
**岩手県教育委員会**

## 目 次

いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]の取組と成果	議19-4
平成27年度教育委員会事務点検評価報告書の概要（案）の概要	議19-5
本書の見方	議19-7
政策Ⅴ 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現	議19-10
政策項目No.24 児童生徒の学力向上	議19-12
政策項目No.25 豊かな心を育む教育の推進	議19-17
政策項目No.26 健やかな体を育む教育の推進	議19-21
政策項目No.27 特別支援教育の充実	議19-23
政策項目No.28 家庭・地域との協働による学校経営の推進	議19-26
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり	議19-29
政策項目No.31 文化芸術の振興	議19-31
政策項目No.32 多様な文化の理解と国際交流	議19-33
政策項目No.33 豊かなスポーツライフの振興	議19-35
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	議19-38
参考資料 平成27年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表	議19-40

# いわて県民計画

## 第3期アクションプラン[政策編]の 取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、平成28年2月にこの計画の第3期アクションプランとして、平成27年度～平成30年度の4年間を対象とした「いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]は、「政策－施策－事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成27年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]の7つの政策のうち、V教育・文化について、また、42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目No. 24～No.29・No.33）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No. 31・No.32・No. 38）について掲載しています。（他部局に係る記載部分は網掛けとしています。）
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成27年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	年度目標達成度	■達成度 平成27年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■達成度の計算方法 $\frac{(\text{H27実績値} - \text{H26現状値})}{(\text{H27目標値} - \text{H27現状値})} \times 100$ ※ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(\text{H26現状値} - \text{H27実績値})}{(\text{H26現状値} - \text{H27目標値})} \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「▼」を表示しています。
- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、平成27年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。



1 位置付け

- (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書
- (2) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類

2 内容

平成28年2月に策定した「いわて県民計画」の第3期アクションプラン【政策編】を対象に、平成26年を基準年度（現状値）として、平成28年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。（基準年度から見た年度目標に対する到達度）

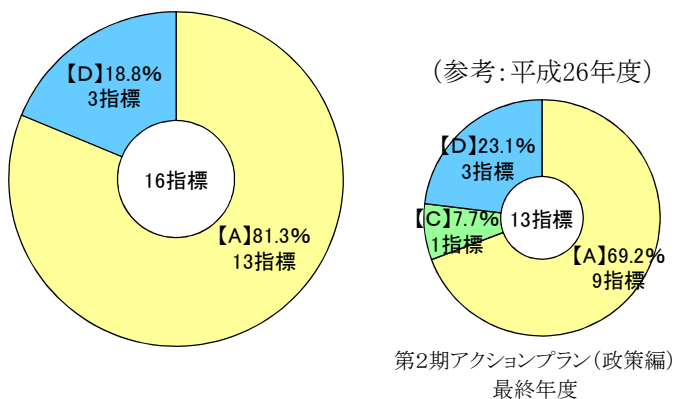
3 アクションプラン【政策編】の平成27年度の達成状況

- (1) 県民・NPO・企業等あらゆる主体が一体となって実現を目指す「みんなで目指す姿」を示した16の指標から見ると、13指標・81.3%が「達成」となりました。
- (2) 県が主体となって具体的に取り組む「具体的な推進方策」の60（67）の指標から見ると、54指標・90.0%が「概ね達成」以上となりました。〔※指標数の（ ）内は、未確定指標を含む全指標数〕

グラフの見方：「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

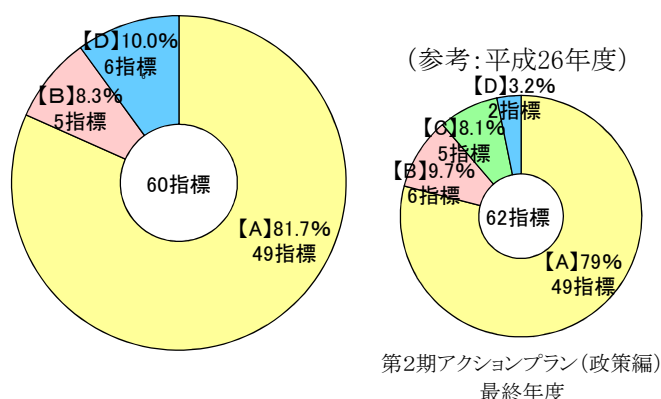
(1) 「みんなで目指す姿」指標の平成27年度達成状況

- ① 「達成【A】」：13指標(81.3%)
- ② 「遅れ【D】」：3指標(18.8%)



(2) 「具体的な推進方策」指標の平成27年度達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」：54指標(90.0%)
- ② 「遅れ【D】」：6指標(10.0%)

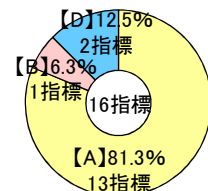


○ 「みんなで目指す姿」指標で、遅れが見られるのは、人の気持ちができる人間になりたいと思っている児童生徒の割合〔政策項目No.25【豊かな心を育む教育の推進】〕、特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合〔政策項目No.27【特別支援教育の充実】〕、スポーツ実施率(週1回以上のスポーツ実施率)〔政策項目No.33【豊かなスポーツライフの振興】〕。

4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

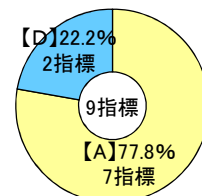
政策項目No.24【児童生徒の学力向上】

- ① 推進方策指標16指標は、「達成【A】」が13指標、「概ね達成【B】」が1指標、「遅れ【D】」が2指標となりました。
- ② 遅れが見られる指標は、小学校・中学校での授業の内容を理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している割合(家庭学習を計画的に行う取組の働きかけを強化したが浸透が不十分であり、「宿題を出しているが計画的でなかった」という評価の学校が増えたため)。



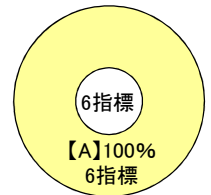
政策項目No.25【豊かな心を育む教育の推進】

- ① 推進方策指標9指標は、「達成【A】」が7指標、「遅れ【D】」が2指標となりました。
- ② 遅れが見られる指標は、小学校の児童生徒の読書者率の向上(平成26年度にブックリストを作成するなど読書活動を推進しており、読書者率は99%以上の高水準を維持しているものの、読書活動の取組をさらに浸透させることができなかったため)、小学校のいじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合(いじめ防止について児童会活動等を通じて、児童が主体的に考える機会が少なかったため)。



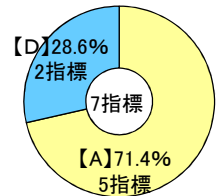
### 政策項目No.26【健やかな体を育む教育の推進】

- ① 推進方策指標6指標は、全て「達成【A】」となりました。



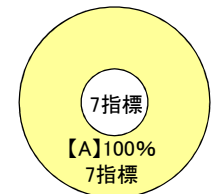
### 政策項目No.27【特別支援教育の充実】

- ① 推進方策指標7指標は、「達成【A】」が5指標、「遅れ【D】」が2指標となりました。  
② 遅れが見られる指標は、特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合（各校における校内研修を十分に開催することができなかったため）、特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合（特別支援教育コーディネーターの研修受講率は100%でしたが、その後の校内研修の重要性の働きかけが十分浸透しなかったため）。



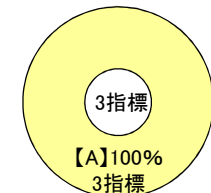
### 政策項目No.28【家庭・地域との協働による学校経営の推進】

- ① 推進方策指標7指標は、全て「達成【A】」となりました。



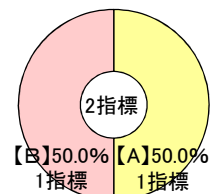
### 政策項目No.29【生涯を通じた学びの環境づくり】

- ① 推進方策指標3指標は、全て「達成【A】」となりました。



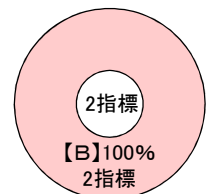
### 政策項目No.31【文化芸術の振興】

- ① 推進方策指標2指標は、「達成【A】」が1指標、「概ね達成【B】」が1指標となりました。



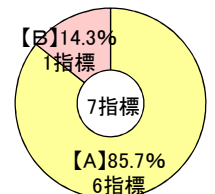
### 政策項目No.32【多様な文化の理解と国際交流】

- ① 推進方策指標2指標は、全て「概ね達成【B】」となりました。



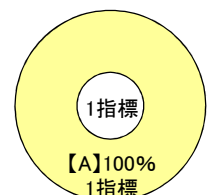
### 政策項目No.33【豊かなスポーツライフの振興】

- ① 推進方策指標7指標は、「達成【A】」が6指標、「概ね達成【B】」が1指標となりました。



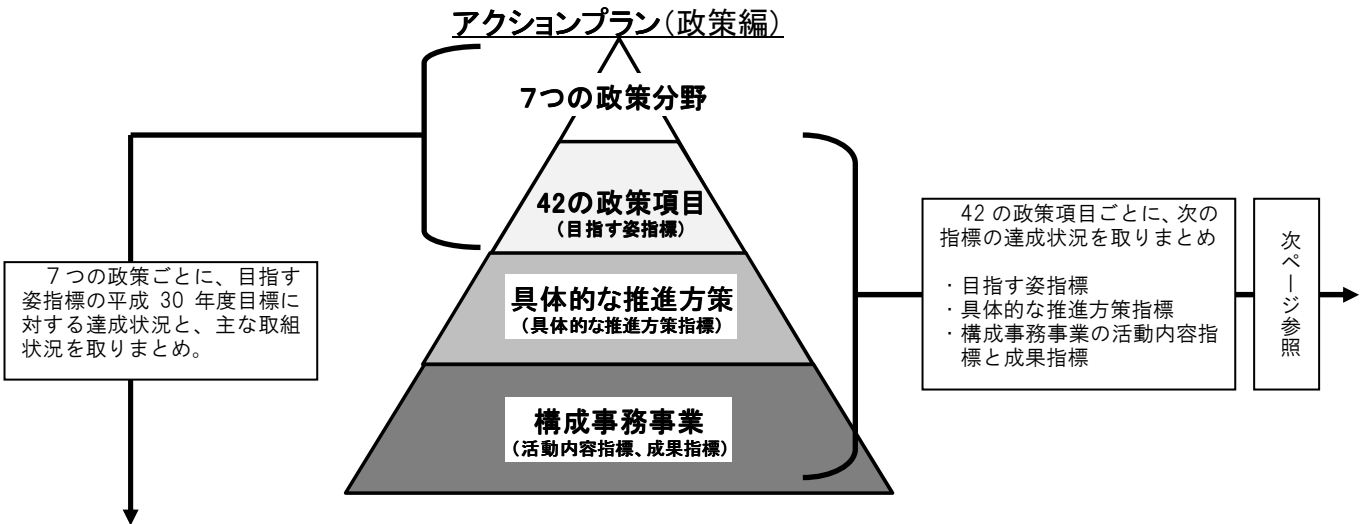
### 政策項目No.38【安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備】

- ① 推進方策指標1指標（県立学校の耐震化率）は、「達成【A】」となりました。



# 本書の見方

本書では、いわて県民計画長期ビジョンに示した7つの政策と、それを構成する42の政策項目について、各種指標の達成状況や目指す姿の実現に向けた県の取組状況などの情報を掲載しています。



## V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

### 平成30年度目標に対する目指す姿指標の達成状況

※棒グラフの見方は、4ページ参照。

指標名	達成状況 (H30目標)
学習定率度状況調査(小学5年生・中学2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	42.5
学校の学びを基に授業時間以外の学習に自主的に取り組む児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生・高校2年生)	0.0
人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	▲7.5
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	55.0
体力・運動能力調査(5段階:A～E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学5年生・中学校2年生)	66.7
「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学5年生・中学校2年生)	150.0
特別な支援を必要とする児童生徒について「個別的教育支援計画」を作成している学校の割合	▲10.5
特別支援学校における交流学習等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)	58.0
学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合	92.8
教育計画の中に様々な自然災害等にそなえる教育活動(防災教育)を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	94.0
生涯学習リーダー登録者数(累計)	25.0
生涯学習に関する研修会等への参加者数	157.3
県内卒者の県内就職率	0.0
県内市町村が高等教育機関と連携して行っている取組の件数(累計)	225.0
県内の公立文化施設における催事数	83.1
民俗芸能ネットワーク加盟団体数	50.0
国際交流センター施設利用者数(利用者数/年)	24.8
スポーツ実施率(1回以上のスポーツ実施率)	▲43.7
国民体育大会天皇杯得点順位	25.0

○政策名  
7つの政策の題名を記載

○指標名の▼  
H26 現状値より数値を下げることを目標とする指標(マイナス指標)

○指標名の◆  
H26 現状値を維持することを目標とする指標(維持指標)

○主な取組事項  
7つの政策ごとの目指す姿を達成するために取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

### 主な取組事項

- 国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上  
学校訪問や各種研修会等において、授業目標の設定例や授業改善計画等を示し、各学校の授業改善の取組を支援しました。
- 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践  
「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育を推進する体制づくりに取り組みました。
- 私立学校の特色ある教育活動の推進  
私立学校がそれぞれの建学の精神に基づき実施する特色ある教育活動について、情報提供や助成等により、目標設定とその達成に向けた取組を支援しました。

○7つの政策に対応する目指す姿指標の指標名と、平成30年度の目標に対する進捗率(%)を表示

【進捗率の計算式】

- ・ 通常の指標 (H26 現状値から数値を上げる目標の場合)  
 $(H27 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H30 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・ マイナス指標 (H26 現状値から数値を下げる目標の場合)  
 $(H26 \text{ 現状値} - H27 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H30 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・ 維持指標等 (H26 現状値を維持する目標等の場合)  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H27 \sim H30 \text{ 目標値の合算値}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H30 \text{ 目標値}) \times 100$

**政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり**

**1 みんなで目指す姿**

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいがづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いかに誇りをもち愛着を深めています。

**2 政策項目の状況**

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳		
				国庫	その他	県債 一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	2	479,403	464,302	223,486	240,816	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0

◎目指す姿指標

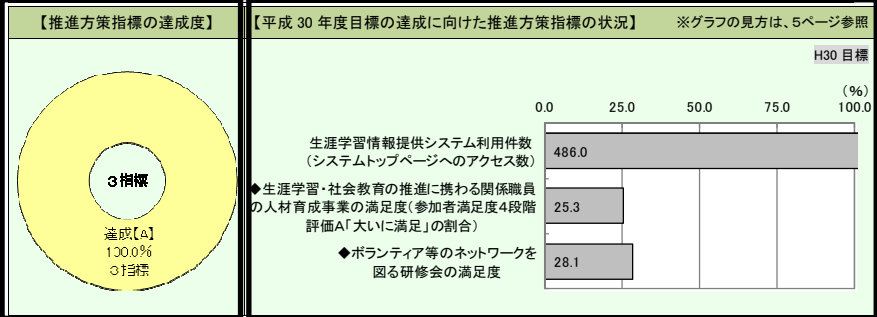
指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
65 生涯学習リーダー登録者数(累計)	人	730	810	750	750	A
66 生涯学習に関する研修会等への参加者数	人	6,194	7,000	6,400	7,462	A

- 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習に関する研修会等への参加者数の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標3指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成28年度県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は30位、満足度は24位となり、ニーズ度は31位となっています。

**3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)**



**(1) 学習活動を支援する環境の充実**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
257 生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)	件	23,710	28,450	24,895	46,745	A
258 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	81	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)及び生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標							
				指標名	単位	計画値	実績値	達成度	KPI	計画値	実績値	達成度	KPI	
復-総	-	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	223,486	学校支援地域本部数	本部	45	45	A	放課後の公的な居場所確保小学校区の割合	%	91.2	92.0	A	153
				指導者の研修会の開催回数(累計)	回	27	27	A	事業者の学習支援施設箇所数	箇所	19	20	A	-
復-総	-	いわたの学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	240,816	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
復-総	-	いわたの学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	240,816	-	-	-	-	-	-	-	100	100	A	152

◎推進方策指標の達成度

推進方策指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

・通常の指標 (H26 現状値から数値を上げる目標)  
 $(H27 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H27 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$

・マイナス指標 (H26 現状値から数値を下げる目標)  
 $(H26 \text{ 現状値} - H27 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H27 \text{ 目標値}) \times 100$

・維持指標等 (H26 現状値を維持する目標等)  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H27 \text{ 目標値等}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出。  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H27 \text{ 目標値}) \times 100$

○政策項目名  
42の政策項目の題名を記載

○みんな目指す姿  
県民の皆さんとともに目指す政策項目の目標 (H30 までに目指す状態) を記載

○投入コスト  
「みんな目指す姿」の実現に向けて、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コストを記載  
・事業数：各推進方策を構成する事業数  
・予算額：平成27年度最終予算額  
・決算額：平成27年度決算額  
・決算額の財源内訳  
国庫：国庫補助金等  
その他：使用料及び手数料、財産収入等  
県債：県が発行する債券  
一般：一般財源

○目指す姿指標  
県民の皆さんとともに目指す政策項目の最終成果目標

○説明欄  
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○特記事項  
関連する社会経済情勢や県民意識調査結果など、当該政策項目を取り巻く状況について記載

○具体的な推進方策指標の指標名と、平成30年度の目標に対する進捗率(%)を表示

【進捗率の計算式】  
・通常の指標 (H26 現状値から数値を上げる目標)  
 $(H27 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H30 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$

・マイナス指標 (H26 現状値から数値を下げる目標)  
 $(H26 \text{ 現状値} - H27 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H30 \text{ 目標値}) \times 100$

・維持指標等 (H26 現状値を維持する目標等)  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H27 \sim H30 \text{ 目標値の合算値}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出。  
 $(H27 \text{ 実績値}) / (H30 \text{ 目標値}) \times 100$

○具体的な推進方策名  
目指す姿を達成するため、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的な推進方策指標  
具体的な推進方策の目標(成果指標)

○説明欄  
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

○推進方策を構成する事業実績  
具体的な推進方策を構成する事務事業の投入コストや活動実績、成果指標の状況について掲載

・区分  
主要事業の再掲の場合、「再」と記載

・計画関連  
復興実施計画に掲げられる事業については「復」、総合戦略におけるプロジェクト構成事業については「総」と記載

・事業名  
事業名と担当課を記載

・決算額  
27年度決算額を記載

・活動内容指標  
事業の活動内容を示す指標  
達成度=実績値/計画値×100

・成果指標  
事業の成果を示す指標  
達成度=実績値/目標値×100

・KPI  
指標が総合戦略で定めるKPI(重要業績評価指標)である場合、そのNoを記載

参考1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「-」と表示しています。

※ 具体的な推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標は H26 現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標は H27 の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

「▼」：H26 現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：H26 現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、H26 現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す）

○ 達成状況のグラフで用いる記号

「▲」：実績値がH26 現状値を下回っている（マイナスになっている）割合

参考3：岩手県ふるさと振興総合戦略で定めるKPI(重要業績成果指標)について

目指す姿指標、具体的な推進方策指標及び構成事業の活動内容指標・成果指標が、総合戦略で定めるKPIを兼ねている場合、次の箇所に総合戦略のKPIのナンバーを記載しています。

○ 目指す姿指標、具体的な推進方策指標の場合

参考資料 平成27年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表に記載。

指標No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26現状	H27			
					目標	実績	達成度	KPI
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）						
目指70	No.31文化芸術の振興	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	400	402	404	A	107
推進268	(3)豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	◎県内に在住している芸術家等の公立文化施設及び学校への派遣回数	◆ 回	10	10	9	B	109

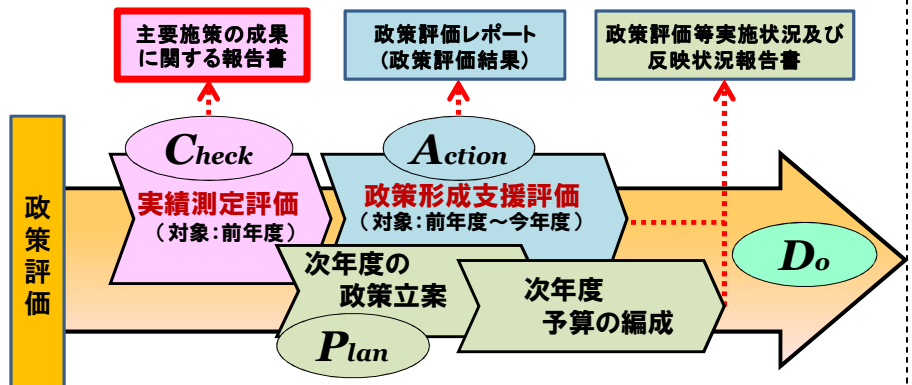
○ 構成事業の活動内容指標・成果指標の場合

本文中の推進方策を構成する事業実績に記載。

区分	計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標				成果指標						
				指標名	単位	平成27年度		KPI	指標名	単位	平成27年度		KPI	
						計画値	実績値				達成度	計画値		実績値
	復・総	芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,273	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	20	20	A	104	公演の鑑賞者数	人	9,836	9,230	B
				青少年劇場(小公演)の開催回数	回	3	3	A	104	公演の鑑賞者数	人	30	181	A

参考4：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回取りまとめた指標データの結果だけでは表すことのできない課題や県民意識等も含めた詳細な分析を行い、これを今後の施策・事業に反映させていきます。

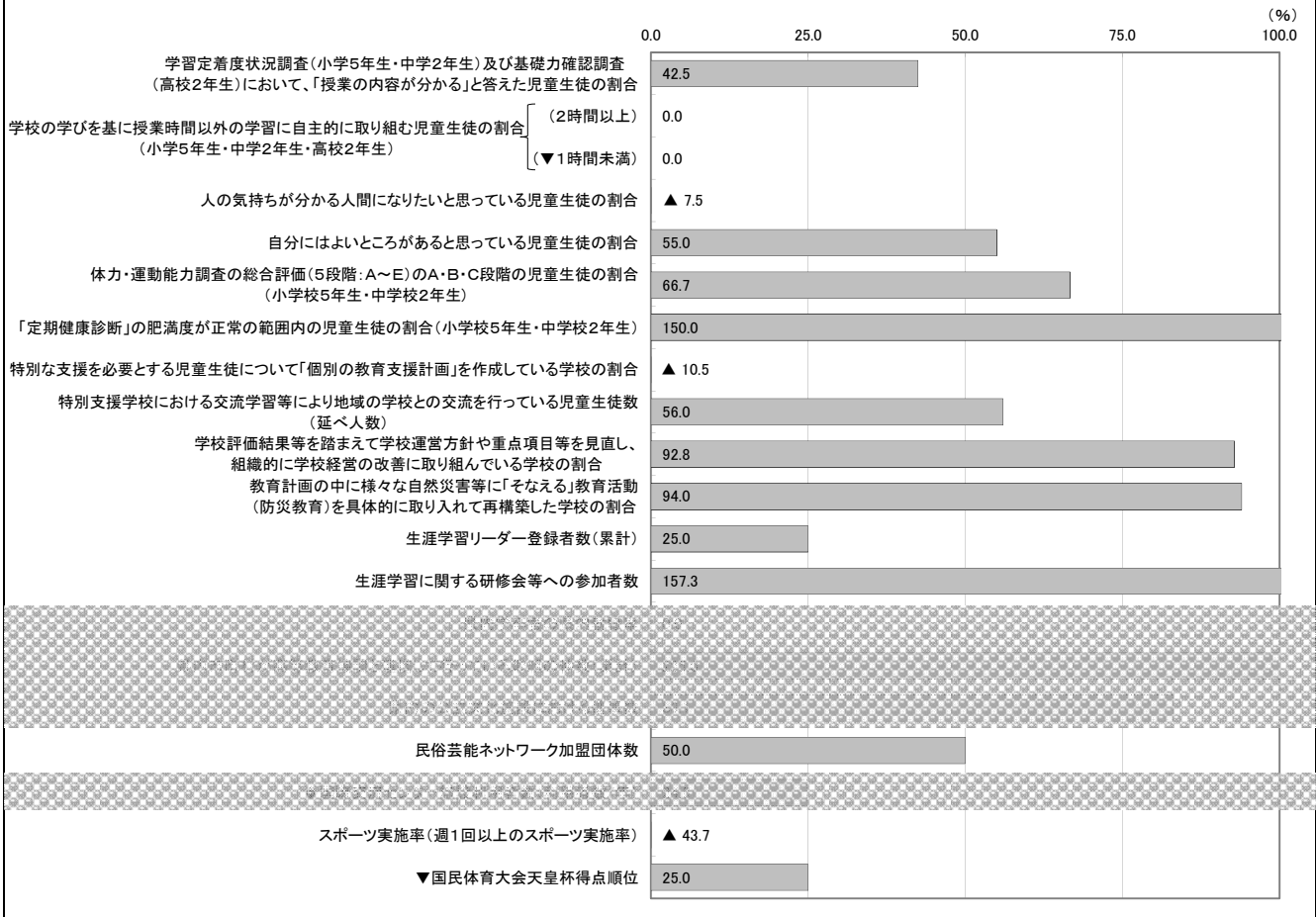


## V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

### 平成30年度目標に対する目指す姿指標の達成状況

※ 棒グラフの見方は、議19-7ページ参照。

H30目標



### 主な取組事項

- 国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上**  
 学校訪問や各種研修会等において、授業目標の設定例や授業改善計画等を示し、各学校の授業改善の取組を支援しました。
- 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践**  
 「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育を推進する体制づくりに取り組みました。
- 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進**  
 小中学校教育課程協議会等で、道徳の教科化に向けた改善の方針等について説明するとともに、道徳教育の充実のための重点を示し、学校の組織的な取組を支援しました。  
 また、読書ボランティアや図書館・学校関係者等対象の研修会を開催し、スキルアップや連携協力による読書環境整備を推進するとともに、ブックリストを作成、配布するなど、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の推進に取り組みました。
- いじめなどに対応した教育相談機能の充実**  
 いじめや不登校の未然防止や適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した福祉的な視点による教育相談体制の充実に取り組みました。
- 指導者の資質向上・授業力向上**  
 体力向上指導者研修会や運動部活動指導者研修会等を開催し、運動やスポーツの楽しさを味わせることの重要性について共通理解を図るとともに、効果的な指導の普及に取り組みました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくり

特別支援学校において県民を対象としたボランティア養成講座を開講し、講座終了後に特別支援ボランティアとして登録する人を増やすとともに、各校種での活用に取り組みました。

■実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」プログラム（改訂版）に基づいた復興教育副読本「いきる かかわる そなえる」を活用した防災教育（【そなえる】）の授業を実践するなどの「いわての復興教育」を推進できるように、各学校の取組を支援しました。

■生涯にわたる学習機会の充実

生涯にわたる学習機会の充実のため、学びの情報提供や啓発活動、地域人材の育成や活用を図るとともに、被災した社会教育施設の復旧支援に取り組みました。

■豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

児童・生徒の豊かな創造性のかん養と芸術普及のため、芸術家等を派遣し、小中学校での芸術鑑賞の充実に取り組みました。

■スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

住民に様々なスポーツ機会を提供する総合型地域スポーツクラブを育成するため、核となるマネージャー対象の研修会を実施するとともに、専門の指導員を派遣し、運営面や指導面に対する助言を行いました。

また、地域のスポーツ指導者を登録したマッチングサイトを運営し、登録指導者を地域スポーツ活動に活用する事業に取り組みました。

■中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

第71回国民体育大会をはじめとして、各種全国大会で本県選手が上位入賞を果たせるよう、各種強化事業に取り組みました。

## V 教育・文化

### 政策項目No.24：児童生徒の学力向上

#### 1 みんなで目指す姿

各学校においてわかりやすい授業が行われることにより、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着し、これを基盤として、思考力・判断力・表現力や主体的に学ぶ態度が育まれています。

さらには、目指す進路を実現できる知識や技能を習得し、自立した社会人になっていくために必要な総合力が身に付いています。

注) 基礎・基本が定着…知識・技能の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上	8	214,188	212,596	3,259	487	0	208,850
(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実	5	368,116	366,278	85,196	3,087	0	277,995
(3) 特色ある教育課程の編成	0	0	0	0	0	0	0
(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践	3	12,652	11,672	0	0	0	11,672

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
54 学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	%	69	73	70	70.7	A
55 学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生) 2時間以上	%	18	21	18	18	A
56 学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生) 1時間未満	%	39	36	39	39	A

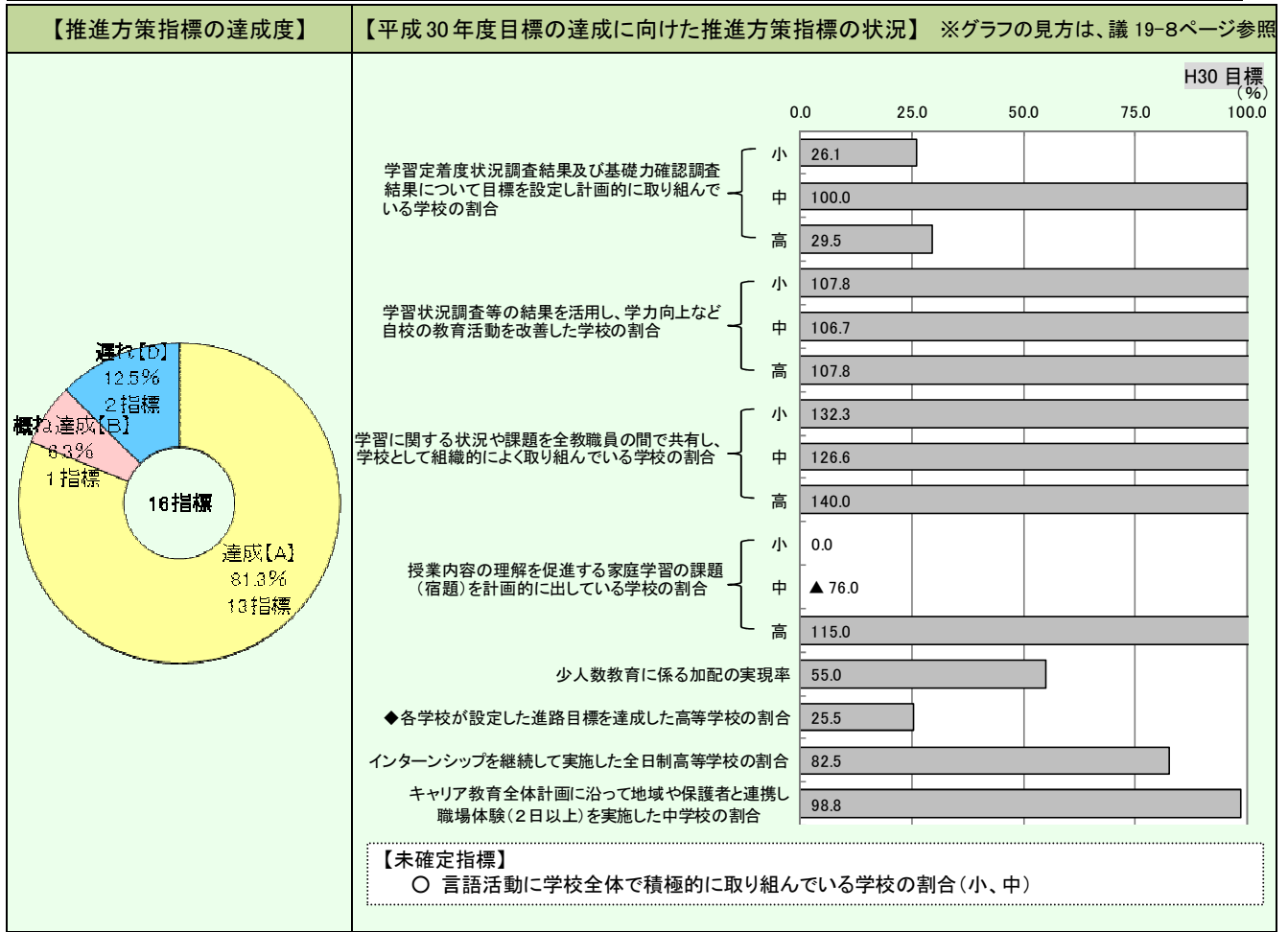
- 学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。(小学校86%、中学校67%、高等学校59%)
- 学校の学びを基に授業時間以外の学習に2時間以上自立的に取り組む児童生徒の割合及び1時間未満の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)の達成度は【A】となりました。(前段：小学校15%、中学校22%、高等学校18%/後段：小学校35%、中学校30%、高等学校54%)
- 具体的な推進方策指標18指標は、達成度未確定の2指標を除き、「達成」・「概ね達成」が14指標(87.5%)、「遅れ」が2指標(12.5%)となりました。

#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は20位、満足度は17位となり、ニーズ度は23位となっています。



### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



#### (1) 国語・数学（算数）・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
201 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合	%	小-	95	95	99	A
202		中-	95	92	95	A
203		高-	95	95	84	B

- 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校の達成度は【A】、高校の達成度は【B】となりました。

##### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業)【学校教育室】	53,119	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	12	12	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19	19	A		
		いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	17,693	東大対策講座への参加校数(3年生)	校	5	5	A	ALTの授業実施校数	校	15	19	A		
				医学部進学セミナーへの参加校数(1、2年生)	校	10	10	A	東大対策講座の受講者数(3年生)	人	50	68	A		
				二次重視大学対策講座への参加校数(3年生)	校	24	24	A	医学部進学セミナーの受講者数(1、2年生)	人	100	161	A		
				センター重視大学対策講演会への参加校数(1・2年生)	校	40	40	A	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	470	618	A		
		外国語教育推進事業費【学校教育室】	129,471	業務委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	27	27	A	センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	420	724	A		
									NSが週1回以上授業した県立学校の割合	%	81	81	A		
									NSの授業実施校数	校	64	64	A		

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		中高連携英語力向上推進事業費【学校教室】	6,835	英語能力判定テストを受ける中学生の割合	%	100	100	A		英検3級レベルを身につけている中学3年生の割合	%	33	33	A	
	改善研修会の開催回数			回	2	2	A		改善研修会を受講する中学校教員の数	人	160	160	A		
	英語能力判定テストを実施する中学校数			数	165	165	A		—	—	—	—	—		
		高校数学活性化プロジェクト事業費【学校教室】	1,273	数学・授業実践セミナー開催回数	回	5	6	A		数学の基礎力の向上に向けた授業改善に取り組んでいる学校	校	64	64	A	
		指導運営費(英語力等外国語能力強化事業)【学校教室】	2,146	改善研修会の開催回数	回	6	6	A		改善研修会を受講する高校教員の数	人	100	116	A	
	英語教育推進リーダー研修会の開催回数			回	4	4	A		英語教育推進リーダー研修会を受講する教員の数	人	70	72	A		
		指導運営費(英語教育強化地域拠点事業)【学校教室】	1,703	小学校英語研修会の開催回数	回	3	4	A		小学校英語研修会に参加した教員数	人	100	124	A	
		指導運営費(理数系人材育成事業)【学校教室】	356	科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A		参加した中学校数	校	6	6	A	

## (2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
204	%	小-	90	80	97	A
205		中-	90	80	96	A
206		高-	90	80	97	A
207	%	小-	70	55	93	A
208		中-	70	45	89	A
209		高-	70	45	98	A
210	%	小	93	95	94	D
211		中	90	95	92	D
212		高	93	95	94	A
213	%	小	26	34	—	—
214		中	19	32	—	—
215	%	84.0	88.0	85.0	86.2	A

- 学習状況調査等の結果を活用し、学力向上などの自校の教育活動を改善した学校の割合は、小学校、中学校、高校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合は、小学校、中学校では家庭学習を計画的に行う取組の働きかけを強化しましたが浸透が不十分であり、「宿題を出しているが計画的でなかった」という評価の学校が増えたため、達成度は【D】となりました。高校の達成度は【A】となりました。
- 言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合は、文部科学省の全国学力・学習状況調査結果公表が未了のため、実績値を測定できませんでした。  
なお、学習指導要領で求められている言語活動の充実の趣旨について改めて各学校に対して周知を図り、学校全体での取組の推進に取り組みました。
- 少人数教育に係る加配の実現率の達成度は【A】となりました。

#### 【用語解説】

##### ※1 言語活動

学習活動における言語による様々な活動のこと。例えば、体験から感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などを用いて表現したり、概念・法則などを解釈し、言葉や数式、図などを用いて説明したりすること。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	5,489	校種ごと実施講座	講座	14	14	A		研修受講者の満足度	%	100	99.6	B	
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	14,114	学力調査等の実施(学年ごと、実施教科ののべ数)	教科	11	11	A		◆報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	
		指導運営費(理科観察・実験等指導力向上研修)【学校教育室】	838	指導力向上研修開催回数	回	6	6	A		指導力向上研修を受講した教員数	人	90	158	A	
		すこやかサポート推進事業費【教職員課】	159,139	小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A		生徒指導面での改善率	%	90	100	A	
	14～16人複式学級への非常勤講師配置率			%	100	100	A		学習指導面での改善率	%	90	100	A		
	小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置人数			人	48	48	A		-	-	-	-	-		
	14～16人複式学級への非常勤講師配置人数			人	33	33	A		-	-	-	-	-		
総	教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	186,698	生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A		生徒指導面での改善率	%	85	100	A		
			学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A		学習指導面での改善率	%	85	100	A		
			生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置人数	人	71	71	A		-	-	-	-	-		
			学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置人数	人	26	26	A		-	-	-	-	-		

(3) 特色ある教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
216 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	%	97	95	95	96.9	A

- 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合の達成度は【A】となりました。

(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
217 インターンシップ※2を継続して実施した全日制高等学校の割合	%	78	82	79	81.3	A
218 キャリア教育※3全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験(2日以上)を実施した中学校の割合	%	-	80.0	78.5	79.0	A

- インターンシップを継続して実施した全日制高等学校の割合及び、キャリア教育全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験(2日以上)を実施した中学校の割合の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 インターンシップ

生徒が在学期間中に自分の学習内容や進路に関連した就業体験をすること。

※3 キャリア教育

児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を学校教育活動全体で計画的・組織的に育むこと。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
	総	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	産業教育振興会への補助件数	件	1	1	A	産業教育振興会による支援件数	件	16	16	A		
	総	学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	4,632	企業見学実施支援学校数	校	6	6	A	職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	84.6	82.8	B		
	総	いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	6,040	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	21	21	A	◆事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A		
				地域に係るものづくり体験学習実施校数	校	15	15	A		-	-	-			
				地域理解・世代・校種間交流活動実施校数	校	18	18	A		-	-	-			

## V 教育・文化

### 政策項目No.25：豊かな心を育む教育の推進

#### 1 みんなで目指す姿

児童生徒一人ひとりが心の教育や体験活動等を通じて、好ましい人間関係を築ける協調性や相手を思いやる気持ち、自他の生命を尊重するなどの基本的な道徳性を身に付け、学校生活に適應するなど、社会人として自立して生きていくための生活基礎力を身に付けています。

また、東日本大震災津波により、心にダメージを受けた子どもたちへの心のサポートが適切になされ、子どもたちが自己有用感や基本的な道徳性を身に付けているほか、東日本大震災津波の経験を踏まえ、発災前よりもよい地域をつくっていくという大きな志をもって前向きに力強く活動しています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	3	2,158	1,723	1,389	0	0	334
(2) 家庭・地域との協働の充実	1	2,994	2,992	0	0	0	2,992
(3) いじめなどに対応した教育相談機能の充実	1	13,881	13,245	13,245	0	0	0
(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実	5	318,857	314,709	306,976	1,644	0	6,089
(5) 情報モラル教育の推進	1	1,159	1,159	1,159	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

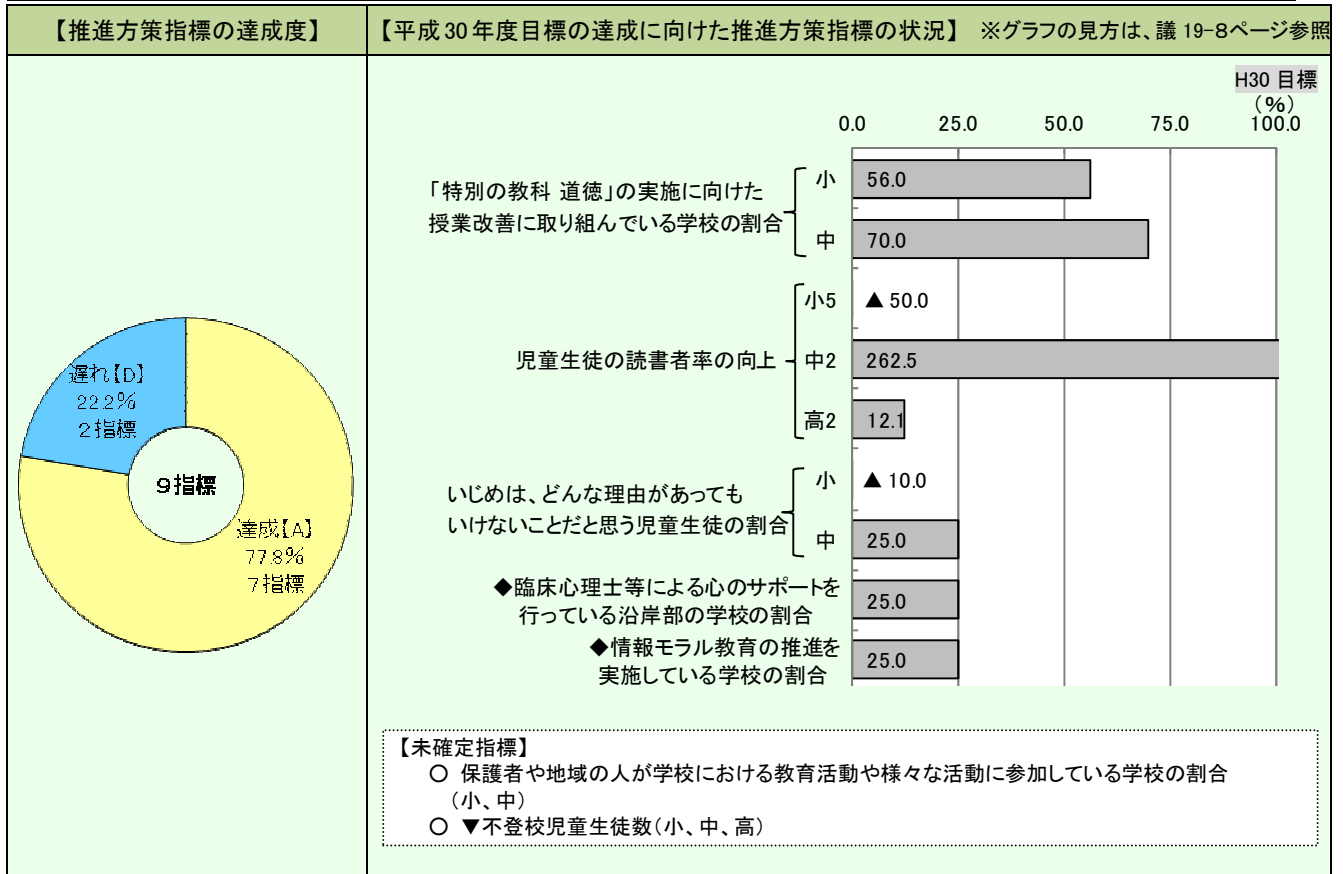
指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
57 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	%	75.0	79.0	76.0	74.7	D
58 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	65.0	67.0	65.5	66.1	A

- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合は、道徳の授業改善やいじめ防止に取り組みましたが、学校における取組を児童生徒に十分浸透させることができなかつたため、達成度は、【D】となりました。
- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標 13 指標は、達成度未確定の 5 指標を除き、「達成」が 7 指標 (77.8%)、「遅れ」が 2 指標 (22.2%) となりました。

#### 特記事項

- 平成 28 年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は 7 位、満足度は 18 位となり、ニーズ度は 12 位となっています。

### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



#### (1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
221 「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合	%	小-	100	40	56	A
222		中-	80	30	56	A
223	%	[小 5]99.3	99.7	99.4	99.1	D
224 児童生徒の読書者率の向上		[中 2]90.0	90.8	90.2	92.1	A
225		[高 2]66.7	70.0	67.0	67.1	A

- 「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 児童生徒の読書者率の向上は、中学生と高校生の達成度は【A】となりましたが、小学生については、平成26年度にブックリストを作成するなど読書活動を推進しており、読書者率は99%以上の高水準を維持しているものの、読書活動の取組をさらに浸透させることができなかつたため、達成度は【D】となりました。

##### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		指導運営費(人権教育研究推進事業)【学校教育室】	152	研究指定校数	校	1	1	A	人権教育リーフレット配布	部	1,200	1,200	A		
		指導運営費(道徳教育推進事業)【学校教育室】	1,237	連絡協議会及び校内研究会の回数	回	4	4	A	啓発パンフレットの配布校数	校	508	508	A		
復		生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業)【生涯学習文化課】	334	読書ボランティア等研修会の回数(累計)	回	125	125	A	中学校2年生の読書者の割合	%	90	92.1	A		
				-	-	-	-	-	学校における読書ボランティア活用割合	%	62	-	-		

## (2) 家庭・地域との協働の充実

### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
226 保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合	%	小 72	84	74	-	-
227 合		中 53	70	55	-	-

- 保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合は、文部科学省が行う全国学力・学習状況調査の結果公表が未了のため、実績値を測定できませんでした。

なお、保護者や地域の人に学校における教育活動等に参加いただくため、教育振興運動実践区の取組等を通じながら、地域と協働した児童生徒の健全育成に取り組みました。

### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度		
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度
復・総		家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	2,992	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A		子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	9,500	9,837	A

## (3) いじめなどに対応した教育相談機能の充実

### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
228	人	小 143	135	141	-	-
229 不登校児童生徒数		中 791	759	783	-	-
230		高 555	531	549	-	-
231 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思ふ児童生徒の割合	%	小 84	88	85	83.6	D
232		中 75	79	76	76	A

※高等学校は中退生徒も含む。

- 不登校児童生徒数は、文部科学省が行う問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査が未了のため、実績値が測定できませんでした。

なお、一層の不登校の未然防止や適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した福祉的な視点による教育相談体制の充実に取り組みました。

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思ふ児童生徒の割合は、小学校は、いじめ防止について児童会活動等を通じて、児童が主体的に考える機会が少なかったため、達成度は【D】となりましたが、中学校の達成度は【A】となりました。

### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度		
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度
復		児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業)【学校教育室】	13,245	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	15	14	B		◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				-	-	-	-		支援児童生徒数	人	150	368	A	

## (4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実

### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
233 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	%	100	100	100	100	A

- 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
	復	児童生徒健全育成推進費(教育相談 コーディネーター養成事業)【学校教育室】	295	教育相談に係る長期 研修修了者	人	9	8	B	学校心理士資格取得率	%	100	83	B		
	復	児童生徒健全育成推進費(スクールカ ウンセラー等配置事業)【学校教育室】	294,634	中学校のスクールカ ウンセラー配置校数	校	160	146	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A		
				巡回型カウンセラーの配 置	人	13	13	A	—	—	—	—	—		
				スーパーバイザーの派遣	箇所	5	5	A	—	—	—	—	—		
				大学チームによる支援	箇所	12	6	D	—	—	—	—	—		
	復	児童生徒健全育成推進費(学校不適 応総合対策事業)【学校教育室】	12,835	高校カウンセラーの配置 人数	人	10	10	A	◆配置希望校への対応 率(高校)	%	100	100	A		
				自立支援相談員の配置 人数	人	2	2	A	◆問題を抱える児童生徒 への対応率	%	100	100	A		
				—	—	—	—	—	自立支援相談員が対応し た相談件数	件	312	432	A		
		児童生徒健全育成推進費(24時間い じめ相談ダイヤル事業)【学校教育室】	3,584	電話相談窓口の設置・運 営	対応	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A		
				携帯カードの作成枚数	枚	150,000	150,000	A	▼不登校児童生徒数(小 中高)	人	1,473	—	—		
		児童生徒健全育成推進費(いじめ問題 総合対策事業)【学校教育室】	3,361	自立支援相談員の配置 人数	人	2	2	A	問題を抱える児童生徒へ の対応率	%	100	100	A		
				いじめ問題に関する研修 会開催回数	回	14	14	A	研修会へ教員を参加させ た学校の割合	%	100	100	A		
				いじめ問題対策連絡協 議会の開催回数	回	1	1	A	児童生徒に関わるいじめ の解消率	%	90	—	—		

(5) 情報モラル教育の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
234 情報モラル教育の推進を実施している学校の割合	%	100	100	100	100	A

● 情報モラル教育の推進を実施している学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		児童生徒健全育成推進費(情報モラル 教育推進事業)【学校教育室】	1,159	体験学習出前講座の実 施回数	回	20	104	A	出前講座の要請への対 応率	%	90	100	A		



## V 教育・文化

### 政策項目No.26：健やかな体を育む教育の推進

#### 1 みんなで目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)体力向上や運動に親しむ環境づくり	2	23,133	21,932	7,085	14,847	0	0
(2)健康教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3)指導者の資質向上・授業力向上	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
59 体力・運動能力調査の総合評価※ <sup>1</sup> (5段階:A~E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)	%	79.7	80.0	79.7	79.9	A
60 「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)	%	85.9	86.5	85.9	86.8	A

- 体力・運動能力調査の総合評価(5段階:A~E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)の達成度は【A】となりました。(小学校75.5%、中学校84.3%)
- 「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)の達成度は【A】となりました。(小学校85.8%、中学校87.7%)
- 具体的な推進方策指標6指標は、全て「達成」となりました。

#### 特記事項

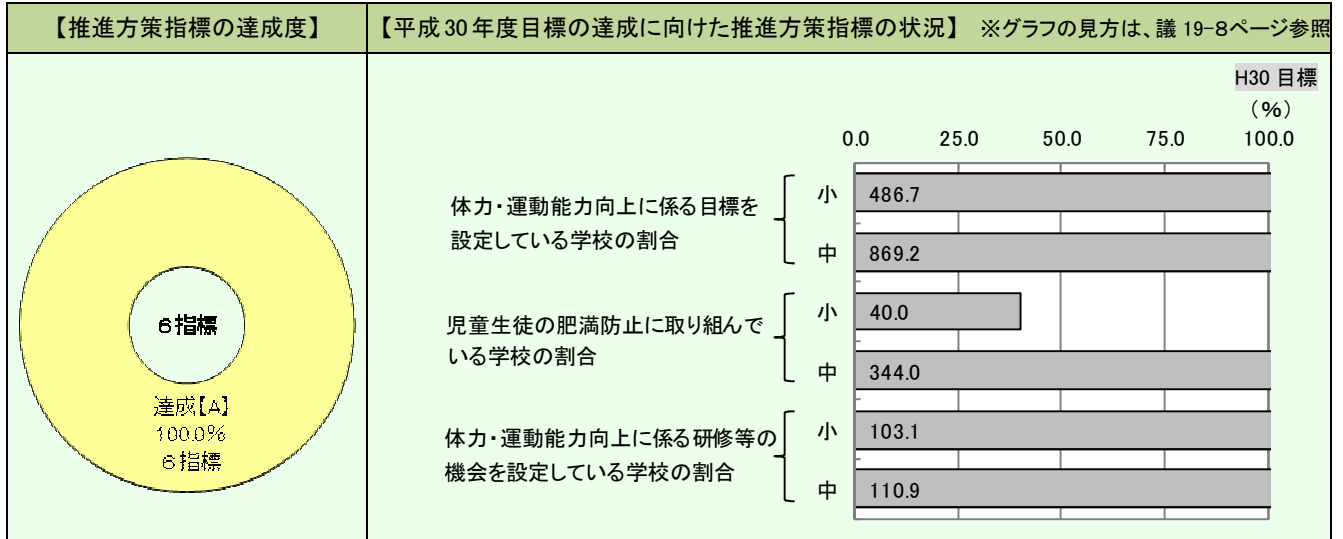
- 平成28年県民意識調査によると、「子どもの体力向上」の重要度は12位、満足度は8位となり、ニーズ度は30位となっています。

#### 【用語解説】

※1 総合評価

スポーツ庁主催の全国調査(対象:小学校第5学年・中学校第2学年)は、新体力・運動能力テスト(調査8項目)により実施される。個人の結果は、各項目の値を得点化(10点満点)し、8項目を合計した得点(体力合計点)によりA~Eの5段階に評価される。

### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



#### (1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
237 体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合	%	小 89.5	91.0	89.5	96.8	A
238		中 65.4	68.0	65.4	88.0	A

- 体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合の達成度は【A】となりました。

##### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成27年度			指標名	単位	平成27年度		
						計画値	実績値	達成度			KPI	計画値	実績値
	復	児童の体力向上推進事業費【スポーツ健康課】	7,085	事業活用学校数	校	14	13	B	事業活用回数	回	126	90	C
	復	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(高田高校運動部活動等支援スクールバス運行事業)【教育企画室】	14,847	バス運行台数	台	5	5	A	バス運行回数	回	1,271	948	C

#### (2) 健康教育の充実

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
239 児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合	%	小 98.5	100.0	98.5	99.1	A
240		中 75.0	80.0	75.0	92.2	A

- 児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。

#### (3) 指導者の資質向上・授業力向上

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
241 体育・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合	%	小 -	87.0	84.0	89.7	A
242		中 -	67.0	60.0	74.3	A

- 体育・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合の達成度は【A】となりました。

## V 教育・文化

### 政策項目No.27：特別支援教育の充実

#### 1 みんなで目指す姿

障がいのある幼児児童生徒一人ひとりが個々の教育的ニーズにきめ細かく応える支援体制のもとで、障がいのない子どもたちといきいきとした学校生活を送り、将来の自立に向けた「共に学び、共に育つ教育」が実現されています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	2	41,653	40,927	355	141	0	40,431
(2) 特別支援学校における教育の充実	3	46,281	43,970	12,605	0	0	31,365
(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 特別支援学校における就職支援	2	18,170	17,559	7,805	76	0	9,678

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
61 特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画 <sup>※1</sup> 」を作成している学校の割合	%	81	100	85	79	D
62 特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)	人	491	1,500	750	1,056	A

- 特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合は、外部関係機関との連携は進んでおり、資料等の作成は行われているが、個別の教育支援計画の理解や具体的な取組が十分に進まなかったことから79%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標7指標は、「達成」が5指標(71.4%)、「遅れ」が2指標(28.6%)となりました。

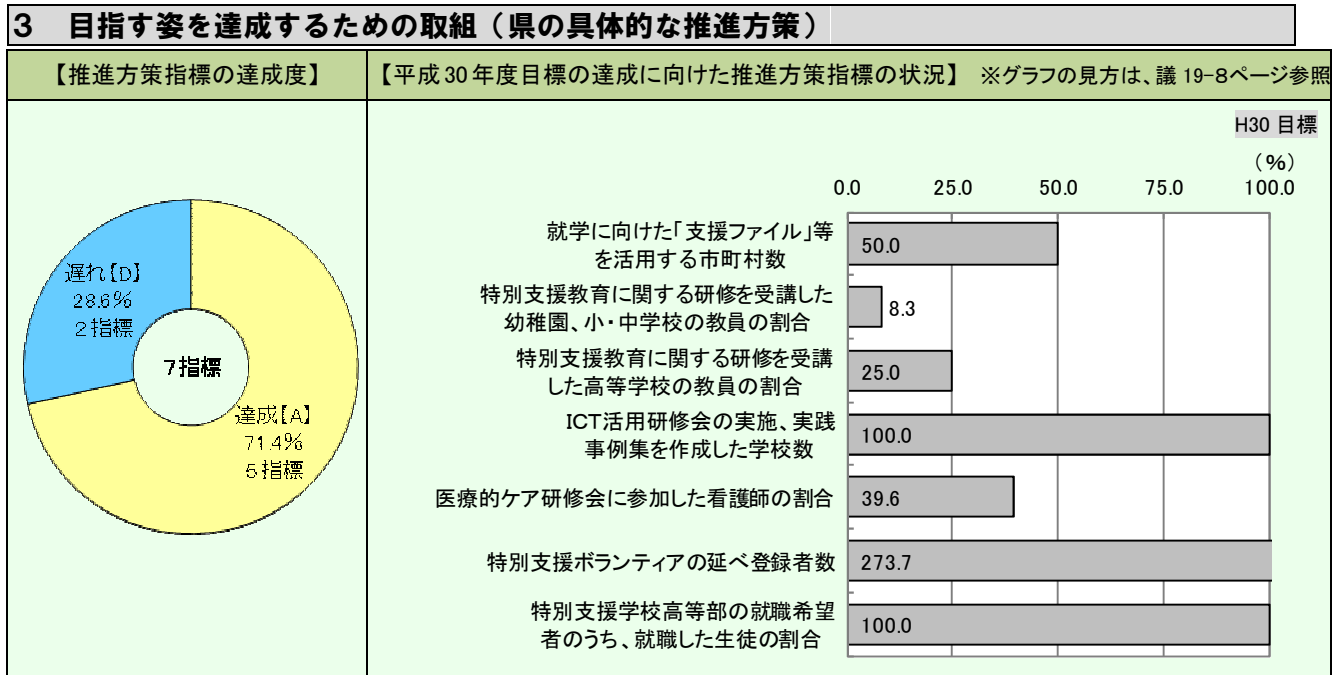
#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は13位、満足度は20位となり、ニーズ度は18位となっています。

#### 【用語解説】

##### ※1 個別の教育支援計画

教育サイドが主体となって作成する「個別の支援計画」。本人・保護者の参画や関係機関との連携により、継続した一貫性のある支援をねらいとして作成するもの。



### (1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

#### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
243 就学に向けた「支援ファイル」 <sup>※2</sup> 等を活用する市町村数	市町村	29	33	31	31	A
244 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合	%	88	100	90	89	D
245 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	%	96	100	98	97	D

- 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数の達成度は【A】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合は、各校における校内研修を十分に開催することができなかつたため、達成度は【D】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合は、特別支援教育コーディネーターの研修受講率は100%でしたが、その後の校内研修の重要性の働きかけが十分浸透しなかつたため、達成度は【D】となりました。

【用語解説】

※2 支援ファイル

「個別の支援計画」に関連する資料。「いわて特別支援教育推進プラン」において、幼児期からの円滑な就学に向けた相談支援のための資料として作成、活用されるよう働きかけているもの。独自の様式を作成、活用して運用を行っている市町村もある。

#### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標							
				指標名	単位	平成27年度			指標名	単位	平成27年度				
						計画値	実績値	達成度			KPI	計画値	実績値	達成度	KPI
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業)【学校教育室】	39,455	高等学校への支援員配置数	人	30	32	A		支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A	
		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	1,472	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A		◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	
				研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	60	A		研修会参加人数	人	1,500	1,600	A	

**(2) 特別支援学校における教育の充実**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
246 ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数	校	0	(全校)14	13	14	A
247 医療的ケア研修会に参加した看護師の割合	%	47	100	60	68	A

- ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数及び医療的ケア研修会に参加した看護師の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業)【学校教育室】	1,104	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	68	68	A		◆相談希望への対応率	%	100	100	A	
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教育室】	40,758	看護師等研修会の開催	回	1	1	A		相談希望対応件数	件	68	68	A	
				看護師の配置数	人	40	37	B		研修会参加看護師数	人	40	30	C	
				タブレット端末の配備校数	校	13	13	A		◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A	
総		特別支援学校自立活動充実事業費【学校教育室】	2,108							学校間での研修会等の実施	回	4	4	A	

**(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
248 特別支援ボランティアの延べ登録者数	人	106	125	110	158	A

- 特別支援ボランティアの延べ登録者数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
再		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	(1,472)	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A		◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	
				研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	60	A		研修会参加人数	人	1,500	1,600	A	

**(4) 特別支援学校における就職支援**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
249 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合	%	99.0	100	99.2	100	A

- 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		教職員人事管理費(障がい者雇用促進対策事業)【学校教育室、教職員課】	9,723	特別支援学校卒業生の雇用人数	人	2	3	A		本事業を利用して一般企業に就労した者の割合	%	30	67	A	
総		特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業)【学校教育室】	7,836	企業との連携協議会対象校数	校	9	9	A		現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A	
				職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置	校	5	5	A		企業での現場実習の実施	回	10	10	A	

## V 教育・文化

### 政策項目No.28：家庭・地域との協働による学校経営の推進

#### 1 みんなで目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、学校評価を学校経営計画<sup>※1</sup>の改善に具体的に生かしながら、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営が行われています。

また、「いわての復興教育<sup>※2</sup>」の理念と「【いきる】【かかわる】【そなえる】<sup>※3</sup>」という教育的価値が定着しています。そのうち特に、様々な自然災害等に【そなえる】教育活動（防災教育）の充実により、自他の生命を守り抜く力と「共助」の精神を兼ね備え、地域の防災活動に進んで参加するなど、岩手の復興・発展及び地域防災を支える人材が育まれています。

#### 【用語解説】

##### ※1 学校経営計画

学校の教育目標の実現を目指し、前年度の学校評価の結果を生かしながら、各年度における学校運営方針や目標及び重点項目と、これを達成するための具体的方策等を示すもの。学校経営の改善を図るマネジメントサイクルのツールとして、全ての学校で作成している。

##### ※2 いわての復興教育

東日本大震災津波による被災体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、岩手の復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

##### ※3 「【いきる】(生命や心について) 【かかわる】(人や地域について) 【そなえる】(防災や安全について)」

東日本大震災津波による被災体験からクローズアップされた教育的価値。「いわての復興教育」は、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（【いきる】【かかわる】【そなえる】）を育てることを目的としています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)目標達成型の学校経営の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2)学校と家庭・地域との協働の推進	1	1,952	1,650	0	0	0	1,650
(3)実践的な防災教育(【そなえる】)を中核とした「いわての復興教育」の推進	6	28,980	27,022	9,570	14,712	0	2,740

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

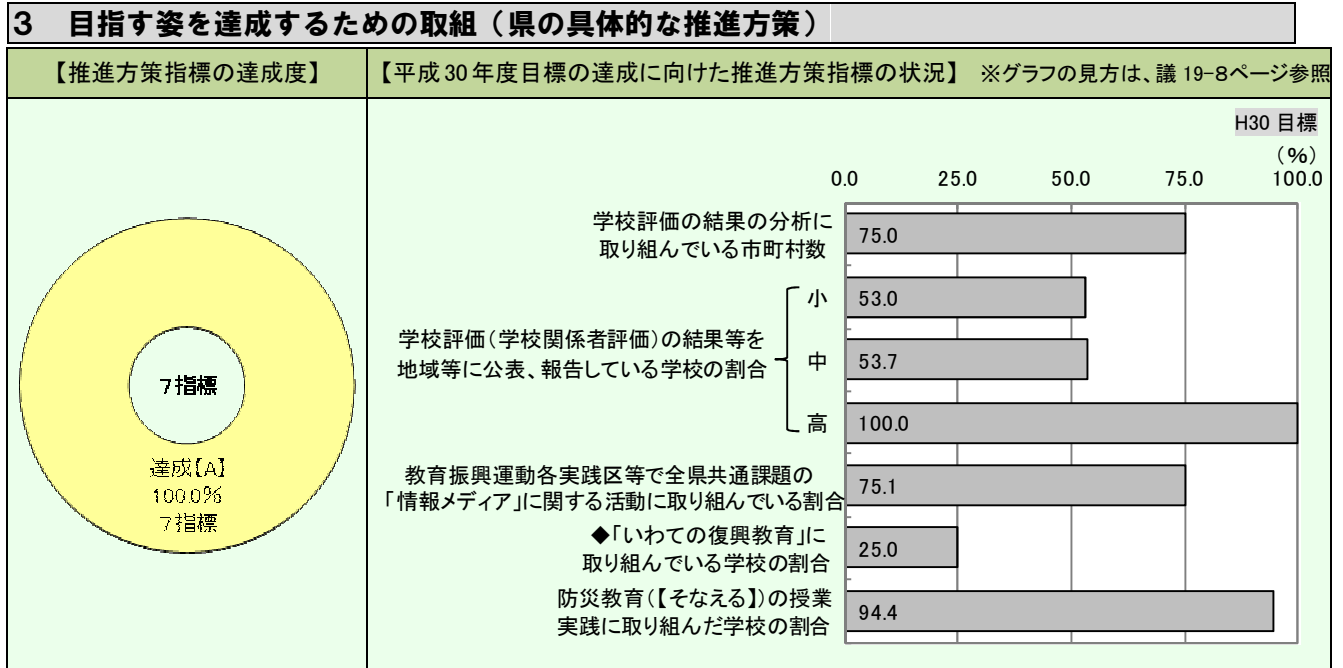
##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
63 学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合	%	-	100	70	92.8	A
64 教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動(防災教育)を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	%	-	100	70	94	A

- 学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動（防災教育）を具体的に取り入れて再構築した学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標7指標は、全て「達成」となりました。

#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「学校と地域との協力」の重要度は22位、満足度は16位となり、ニーズ度は27位となっています。



#### (1) 目標達成型の学校経営の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
250 学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数	市町村	9	33	11	27	A
251 学校評価(学校関係者評価)の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合	%	小 69.8	100	75	85.8	A
		中 64.8	100	75	83.7	A
		県立 83.2	100	85	100	A

- 学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数の達成度は【A】となりました。
- 学校評価(学校関係者評価)の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合の達成度は【A】となりました。

#### (2) 学校と家庭・地域との協働の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
254 教育振興運動※4各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合	%	19.7	80.0	40.0	65.0	A

- 教育振興運動各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合の達成度は【A】となりました。

##### 【用語解説】

##### ※4 教育振興運動

岩手において昭和40年から始まり、全ての市町村に推進組織が置かれ、学校区や公民館区など計453の実践区(平成26年度現在)において、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている実践活動の総称。

##### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標				成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			指標名	単位	平成27年度			
						計画値	実績値	達成度			KPI	計画値	実績値	達成度
再	復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	(223,486)	学校支援地域本部数	本部	45	45	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.2	92	A	153
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	27	27	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	19	20	A	
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	18	18	A	-	-	-	-	-	
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-	
				地域及び学校との打合せ回数	回	-	-	-	地域と高校が連携し、高校の魅力向上に繋がる取組を行う地域	箇所	-	-	-	151
総		高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業)【学校教育室】	1,650											

**(3) 実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
255 「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合	%	100	100	100	100	A
256 防災教育（【そなえる】）の授業実践に取り組んだ学校の割合	%	50	100	70	97.2	A

- 「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合及び防災教育（【そなえる】）の授業実践に取り組んだ学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	KPI
復・総		いわての復興教育推進支援事業費(東日本大震災津波記録誌(英語ダイジェスト版)作成事業)【教育企画室】	814	作成部数	部	600	600	A		作成部数	部	600	600	A	
復・総		県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	14,080	進学支援対策講座等の実施校数	校	7	7	A		進学支援対策講座等の受講者数	人	250	279	A	
				進路実現取組実施校数	校	19	19	A		事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A	
復		県立学校復興担い手育成支援事業費(復興を担う専門人材育成支援事業)【学校教育室】	2,738	復興担い手育成支援事業取組実施校数	校	5	5	A		事業目的の成果があった学校の割合	%	100	100	A	
復		防災教育推進事業費【学校教育室】	2,553	防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A		研修受講者の理解度	%	80	90	A	
				防災教育の普及啓発のための学校訪問数	校	115	120	A		県の指針を活用し、自校の防災体制を見直した学校数	校	115	120	A	
復		防災教育推進事業費(高校生防災スクール事業)【学校教育室】	1,594	研究モデル校数	校	4	4	A		取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	
復		実践的防災安全教育支援事業費【学校教育室】	5,243	学校防災アドバイザー派遣校	校	30	32	A		避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	30	32	A	
				通学路安全対策アドバイザー派遣	市町	3	2	C		通学路点検を実施した市町	市町	3	2	C	



## V 教育・文化

### 政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

#### 1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいつくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	2	479,403	464,302	223,486	240,816	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
65 生涯学習リーダー登録者数(累計)	人	730	810	750	750	A
66 生涯学習に関する研修会等への参加者数	人	6,194	7,000	6,400	7,462	A

- 生涯学習リーダー登録者数（累計）の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習に関する研修会等への参加者数の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標3指標は、全て「達成」となりました。

#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は30位、満足度は24位となり、ニーズ度は31位となっています。

#### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成30年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、議19-8ページ参照						
<p>3指標 達成【A】 100.0% 3指標</p>	<p style="text-align: right;">H30 目標 (%)</p> <p style="text-align: center;">0.0    25.0    50.0    75.0    100.0</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>生涯学習情報提供システム利用件数 (システムトップページへのアクセス数)</td> <td style="text-align: center;">486.0</td> </tr> <tr> <td>◆生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の 人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階 評価A「大いに満足」の割合)</td> <td style="text-align: center;">25.3</td> </tr> <tr> <td>◆ボランティア等のネットワークを図る研修会の満 足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の 割合)</td> <td style="text-align: center;">28.1</td> </tr> </table>	生涯学習情報提供システム利用件数 (システムトップページへのアクセス数)	486.0	◆生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の 人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階 評価A「大いに満足」の割合)	25.3	◆ボランティア等のネットワークを図る研修会の満 足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の 割合)	28.1
生涯学習情報提供システム利用件数 (システムトップページへのアクセス数)	486.0						
◆生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の 人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階 評価A「大いに満足」の割合)	25.3						
◆ボランティア等のネットワークを図る研修会の満 足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の 割合)	28.1						

**(1) 学習活動を支援する環境の充実**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
257 生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)	件	23,710	28,450	24,895	46,745	A
258 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	81	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムトップページへのアクセス数）及び生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
復・総		学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	223,486	学校支援地域本部数	本部	45	45	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.2	92.0	A	153	
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	27	27	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	19	20	A		
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	18	18	A	-	-	-	-	-		
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-		
復・総		いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	240,816	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	152		

**(2) 生涯にわたる学習機会の充実**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
259 ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	90	A

- ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）の達成度は【A】となりました。

## V 教育・文化

### 政策項目No.31：文化芸術の振興

#### 1 みんなで目指す姿

多彩な本県の文化芸術が育まれ、創造・継承されるとともに、人々が文化芸術に触れ、活動・鑑賞する機会が増えています。

また、郷土の誇りと愛着をもたらす歴史遺産や伝統文化が保存継承され、その価値が広く内外に発信されるとともに、新しいものを創造する地域文化の振興が図られています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	12	1,123,489	1,108,430	106,423	91,444	0	910,563
(5) 世界遺産の普及及び新規登録に向けた取組	4	45,064	43,927	5,000	5,089	0	33,838

※ 再掲事業は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
70 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	400	408	402	404	A

- 民俗芸能ネットワーク加盟団体数の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標2指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「郷土愛の向上に向けた取組」の重要度は42位、満足度は12位で、ニーズ度は40位となっています。また、「地域や学校での文化芸術活動」の重要度は44位、満足度は3位で、ニーズ度は46位となっています。

#### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成30年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、議19-8ページ参照										
<p>概ね達成【B】 50.0% 1指標</p> <p>達成【A】 50.0% 1指標</p> <p>2指標</p>	<p>H30目標</p> <p>0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 (%)</p> <p>◆県内に在住している芸術家等の公立文化施設及び学校への派遣回数</p> <table border="1"> <tr> <td>22.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>世界遺産が所在する市町村数</p>	22.5					50.0				
22.5											
50.0											

**(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
268 県内に在住している芸術家等の公立文化施設及び学校への派遣回数	回	10	10	10	9	B

● 県内に在住している芸術家等の公立文化施設及び学校への派遣回数の達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
総		文化財保護推進費(民俗芸能伝承促進事業)【生涯学習文化課】	2,387	民俗芸能フェスティバルの開催回数	回	1	1	A		民俗芸能フェスティバル鑑賞者数	人	600	1,000	A	
復		文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業)【生涯学習文化課】	210,949	市町村への委託数	件	-	-	-		仮設収蔵庫整備数累計	棟	13	14	A	
				市町村への補助数	件	3	3	A		-	-	-	-	-	
		文化財保護推進費(発掘された日本列島展2015開催事業)【生涯学習文化課】	4,300	巡回展開催日数	日	40	40	A		入場者数	人	5,000	4,988	B	
復		遺跡調査事業費(遺跡調査事業)【生涯学習文化課】	113,945	国、県の公共事業に係る埋蔵文化財調査事業数	件	4	6	A		市町村が行う埋蔵文化財調査への支援件数	件	8	5	C	
				市町村公共事業に係る埋蔵文化財調査に対する支援を行う市町村数	市町村	8	8	A		-	-	-	-	-	
復・総		芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,273	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	20	20	A	104	公演の鑑賞者数	人	9,836	9,230	B	
				青少年劇場(小公演)の開催回数	回	3	3	A	104	公演の鑑賞者数	人	30	181	A	
復・総		芸術文化振興事業費(高校生文化活動支援事業)【生涯学習文化課】	9,320	セミナーサポート事業回数	回	24	23	B		全国高総文祭団体入賞者数	団体	2	1	D	106
				-	-	-	-	-		全国高総文祭個人入賞者数	人	1	4	A	106
復・総		芸術文化振興事業費(岩手県中学校文化連盟補助)【生涯学習文化課】	1,400	県中総文祭実施回数	回	1	1	A		全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A	
				-	-	-	-	-		全国中文祭派遣個人数	人	23	27	A	105
復		いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【生涯学習文化課】	3,924	中文祭参加補助団体数	団体	1	4	A		中文祭参加補助者数	人	36	56	A	
				高文祭参加補助団体数	団体	15	14	B		高文祭参加補助者数	人	255	125	D	
				高校生セミナーサポート参加補助団体数	団体	8	8	A		高校生セミナーサポート参加補助者数	人	35	33	B	
				吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助団体数	団体	7	8	A		吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助者数	人	150	45	D	
復		震災復興支援あーとキャラバン実施事業費【生涯学習文化課】	2,729	あーとキャラバン開催回数	回	4	4	A		あーとキャラバン参加者数	人	500	398	C	
総		博物館管理運営費【生涯学習文化課】	313,926	企画展・テーマ展の開催回数	回	4	4	A		博物館入館者数	人	36,000	40,258	A	103
総		美術館管理運営費【生涯学習文化課】	432,277	美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	43	92	A		美術館入館者数	人	50,000	46,741	B	102

**(5) 世界遺産の普及及び新規登録に向けた取組**

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
271 世界遺産が所在する市町数	市町村	1	3	2	2	A

● 世界遺産が所在する市町数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
総		文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業)【生涯学習文化課】	1,500	共同研究の実施件数	件	6	6	A		共同研究成果の論文数	本	6	6	A	101
				平泉文化フォーラムの開催回数	回	1	1	A		平泉文化フォーラムの参加者数	人	400	450	A	
				研究年報の発行回数	回	1	1	A		-	-	-	-	-	
総		世界遺産登録推進事業費(平泉世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	11,131	「平泉授業」の実施回数	回	20	23	A		「平泉授業」の受講者数	人	1,000	1,144	A	
				追加登録のための会議等開催	回	3	4	A		追加登録のための報告書等作成	冊	2	2	A	
総		世界遺産登録推進事業費(縄文遺跡群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	4,718	「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」負担金支出	件	1	1	A		関係各種会議への参加回数	回	3	4	A	
総		世界遺産登録推進事業費(明治日本の産業革命遺産保存活用推進事業)【生涯学習文化課】	26,578	「世界遺産登録推進協議会」負担金支出	件	1	1	A		関係各種会議への参加回数	回	6	6	A	

## V 教育・文化

### 政策項目No.32：多様な文化の理解と国際交流

#### 1 みんなで目指す姿

地域において、外国人県民等<sup>※1</sup>との交流が行われ、文化や価値観を認め合っています。また、外国人県民等に対する受入体制が整備され、外国人県民等も積極的に地域活動に参加するなど、共にいきいきと生活する多文化共生社会が実現しています。

海外との草の根交流<sup>※2</sup>や姉妹都市交流などにより、様々なネットワークが形成され、岩手の魅力が海外に発信されています。

【用語解説】

- ※1 外国人県民等  
外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民。
- ※2 草の根交流  
民間団体等が自主的に行う交流活動。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(2) 海外とのネットワークの形成	7	63,859	62,686	12,672	0	0	50,014

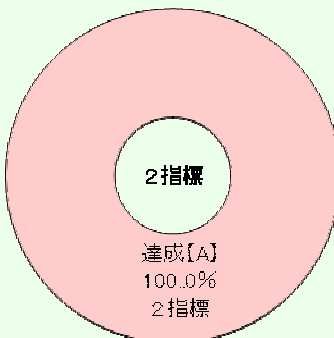
※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

- 具体的な推進方策指標 2 指標については、全て「概ね達成」となりました。

#### 特記事項

- 本県における在留外国人数は、平成 22 年 12 月末は 6,191 人でしたが、震災後の平成 23 年 12 月末には、5,234 人に減少しました。その後、平成 27 年 12 月末には、5,863 人となり、震災後大きく減少した在留外国人数は、震災前の 94.7%まで回復してきています。
- 平成 28 年県民意識調査によると、「外国人も暮らしやすい地域社会」の重要度は 45 位、満足度は 22 位となり、ニーズ度は 44 位となっています。

#### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成 30 年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、議 19-8 ページ参照						
 <p>2指標 達成【A】 100.0% 2指標</p>	<p>H30 目標 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標	達成率 (%)	イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	94.0	海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	95.0
指標	達成率 (%)						
イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	94.0						
海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	95.0						

## (2) 海外とのネットワークの形成

### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
274 イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	%	-	100	97	94	B
275 海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	%	-	100	97	95	B

- イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合及び海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合の達成度は【B】となりました。

### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
総		グローバルいわて推進事業費(希望郷いわてグローバル人材育成事業)【学校教育室】	7,172	イングリッシュキャンプの開催回数	回	2	2	A	イーハートブ・イングリッシュキャンプに参加した生徒数	人	50	56	A	149	
				海外派遣実施回数	回	1	1	A	海外派遣に参加した生徒数	人	10	10	A	148	
総		指導運営費(いわて高校生留学促進事業)【学校教育室】	2,829	グローバル人材育成のための講師派遣事業実施校数	校	10	9	B	グローバル人材育成のための講師派遣事業参加生徒数	人	1,000	1,462	A		
総		指導運営費(スーパーグローバルハイスクール推進事業)【学校教育室】	9,844	スーパーグローバルハイスクール事業を推進する学校数	校	1	1	A	大学・企業等の国内研修に参加した生徒数	人	100	279	A		

## V 教育・文化

### 政策項目No.33：豊かなスポーツライフの振興

#### 1 みんなで目指す姿

幼児から高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境が整い、スポーツを楽しみ、また、スポーツを支える活動に参画する機会が増えることにより、誰もが心豊かで活力のある健康的な生活を送っています。

また、第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の本県開催を契機に高まった競技力と県民のスポーツに対する関心がさらに高まり、ラグビーワールドカップ2019の本県開催や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組が活発に行われています。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	1	2,916	2,872		433		2,439
(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	8	573,114	565,885	0	28,189	0	537,696
(3) スポーツ医・科学サポートの推進	1	21,352	19,835	0	0	0	19,835
(4) 第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた県民参加の促進	3	2,053,559	1,984,550	31,807	1,921,913	0	30,830

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

##### ◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
72 スポーツ実施率 (週1回以上のスポーツ実施率)	%	52.8	56.0	53.0	51.4	D
73 国民体育大会天皇杯得点順位	位	37位	20位台	10位台	16	A

- スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）は、週3回以上のスポーツ習慣がある者が増加したものの、取り組みやすく、気軽にできる運動の普及が十分でなく、週1回～2回程度実施した者が減少したため、達成度は【D】となりました。
- 国民体育大会天皇杯得点順位は、16位となり、達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標7指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

#### 特記事項

- 平成28年県民意識調査によると、「県出身スポーツ選手の活躍」の重要度は40位、満足度は2位となり、ニーズ度は45位となっています。

### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成30年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、議 19-8ページ参照																		
<p>概ね達成【B】 14.3% 1指標</p> <p>7指標 達成【A】 85.7% 6指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30 目標 (%)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>0.0 25.0 50.0 75.0 100.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）（累計）</td> <td>221.2</td> </tr> <tr> <td>岩手県スポーツ推進委員研修会参加率</td> <td>79.4</td> </tr> <tr> <td>国民体育大会天皇杯得点獲得競技数</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>県内指導者の公認資格取得数（累計）</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>本県関係選手の日本代表選出数（累計）</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>プロスポーツチームによる講習会開催回数</td> <td>415.0</td> </tr> <tr> <td>スポーツ医・科学サポート団体数</td> <td>62.5</td> </tr> </tbody> </table>		H30 目標 (%)		0.0 25.0 50.0 75.0 100.0	総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）（累計）	221.2	岩手県スポーツ推進委員研修会参加率	79.4	国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	100.0	県内指導者の公認資格取得数（累計）	106.9	本県関係選手の日本代表選出数（累計）	41.7	プロスポーツチームによる講習会開催回数	415.0	スポーツ医・科学サポート団体数	62.5
		H30 目標 (%)																	
		0.0 25.0 50.0 75.0 100.0																	
	総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）（累計）	221.2																	
	岩手県スポーツ推進委員研修会参加率	79.4																	
	国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	100.0																	
	県内指導者の公認資格取得数（累計）	106.9																	
本県関係選手の日本代表選出数（累計）	41.7																		
プロスポーツチームによる講習会開催回数	415.0																		
スポーツ医・科学サポート団体数	62.5																		

#### (1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
278 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)(累計)	人	9,494	10,200	9,850	11,056	A
279 岩手県スポーツ推進委員研修会参加率	%	-	32.0	30.0	25.4	B

- 総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）の達成度は【A】となりました。
- 岩手県スポーツ推進委員研修会参加率の達成度は【B】となりました。

##### ◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標							
				指標名	単位	平成27年度			指標名	単位	平成27年度				
						計画値	実績値	達成度			KPI	計画値	実績値	達成度	KPI
復・総		生涯スポーツ推進費(生涯スポーツ推進プラン)【スポーツ健康課】	2,872	広域スポーツセンター指導員派遣市町村数	市町村	33	29	B		派遣延べ回数	回	36	58	A	

#### (2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
280 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	競技	20	25	25	25	A
281 県内指導者の公認資格取得数(累計)	人	2,498	2,600	2,525	2,607	A
282 本県関係選手の日本代表選出数(累計)	人	-	60	15	25	A
283 プロスポーツチームによる講習会開催回数	回	50	70	55	133	A

- 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数、県内指導者の公認資格取得数（累計）、本県関係選手の日本代表選出数（累計）及びプロスポーツチームによる講習会開催回数の達成度は【A】となりました。



◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		体育大会開催、派遣事業費(東北大会派遣費補助)【スポーツ健康課】	23,078	東北総合体育大会選手派遣競技数	競技	37	37	A	東北総合体育大会選手派遣人数	人	1,097	955	B		
		岩手県高等学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	12,510	全国高校総体出場競技数	競技	33	32	B	全国高校総体への派遣人数	人	822	763	B		
		岩手県中学校体育連盟補助【スポーツ健康課】	4,824	全国中学校体育大会出場競技数	競技	20	16	B	全国中学校体育大会への派遣人数	人	316	264	B		
総		競技力向上対策事業費(いわてスーパーキッズ発掘・育成事業)【スポーツ健康課】	12,495	体カテスト(チャレンジ2)の開催回数	回	7	7	A	体カテスト(チャレンジ2)参加児童数	人	300	426	A		
				スペシャルスクールの開催回数	回	37	37	A	スペシャルスクール参加児童数	人	2,300	2,250	B		
		競技力向上対策事業費(いわてアスリート強化事業)【スポーツ健康課】	72,671	強化事業実施競技延べ団体数	団体	162	162	A	強化事業参加人数	人	2,030	4,530	A		
		競技力向上対策事業費(全国大会派遣費)【スポーツ健康課】	34,812	全国高校総体及び全国中学校体育大会出場競技数	競技	52	48	B	全国高校総体及び全国中学校体育大会への派遣人数	人	1,138	1,027	B		
		第71回国民体育大会選手強化事業費【スポーツ健康課】	377,314	強化練習会・遠征合宿実施競技団体	団体	40	40	A	強化練習会・遠征合宿参加人数	人	8,000	18,937	A		
復		いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助【スポーツ健康課】	28,181	県中総体・新人大大会出場競技数	競技	21	18	B	県中総体・新人大大会出場補助者数	人	531	330	C		
				県高総体・新人大大会出場競技数	競技	48	28	D	県高総体・新人大大会出場補助者数	人	1,710	1,674	B		
				東北中学校体育大会出場競技数	競技	7	6	B	東北中学校体育大会出場補助者数	人	30	17	D		
				東北高校選手権大会出場競技数	競技	15	17	A	東北高校選手権大会出場補助者数	人	120	63	D		
				全国中学校体育大会出場競技数	競技	4	1	D	全国中学校体育大会出場補助者数	人	15	1	D		
				全国高校総体出場競技数	競技	9	7	C	全国高校総体出場補助者数	人	85	14	D		

(3) スポーツ医・科学サポートの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
284 スポーツ医・科学サポート団体数	団体	54	70	55	64	A

● スポーツ医・科学サポート団体数は、目標値を上回り達成度は【A】となりました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		スポーツ健康科学サポート推進事業費【スポーツ健康課】	19,835	サポートする団体数	団体	50	64	A	サポート件数	件	550	1,487	A		

(4) 第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた県民参加の促進

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				計画値	実績値	達成度	
		国体関連競技施設整備事業費【スポーツ健康課】	30,830	整備施設数	箇所	10	14	A	施設の整備率	%	100	140	A		

## VII 社会資本・公共交通・情報基盤

### 政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

#### 1 みんなで目指す姿

東日本大震災津波により被災した沿岸地域では、「多重防災型」の復興まちづくりとともに、湾口防波堤や防潮堤などの津波防災施設の復旧・整備が進み、安全な避難体制が構築された防災都市・地域づくりが概成しています。

地震や洪水、土砂災害などから県民の生命・財産を守る施設の整備などのハード対策や、警戒避難体制の整備などのソフト対策が進むとともに、災害時の緊急輸送等を確保するため信頼性の高い道路ネットワークの構築や冬期間も安全な通行を確保する取組、通学路への歩道整備が進んでいます。

また、住宅や学校施設、庁舎及び医療機関の耐震化の推進により、日常の生活を支える社会資本の整備が進んでいます。

#### 2 政策項目の状況

##### ◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進	15	67,326,553	56,273,932	47,178,261	3,291,011	4,371,524	1,433,136

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

- 教育委員会が所管する具体的な推進方策指標 1 指標は、「達成」となりました。

##### 特記事項

- 本県の建築物の耐震診断・耐震改修を引き続き促進していくため、平成 28 年 4 月に「第 2 期岩手県耐震改修促進計画」を策定しました。
- 平成 28 年県民意識調査によると、「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は 6 位、満足度は 27 位となり、ニーズ度は 9 位となっています。

#### 3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成 30 年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、議 19-8 ページ参照					
	<p>H30 目標 (%)</p> <p>0.0      25.0      50.0      75.0      100.0</p> <p>県立学校の耐震化率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">0.0</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table>	0.0				
0.0						

#### (2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進

##### ◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
331 県立学校の耐震化率	%	97.8	98.2	97.8	97.8	A

- 県立学校の耐震化率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成27年度			KPI	指標名	単位	平成27年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業)【教育企画室】	55,116	学校施設の耐震診断(小規模特別教室棟等)	箇所	3	3	A		耐震診断実施箇所数	箇所	3	3	A	
		校舎大規模改造事業費(産業教育施設大規模改造事業)【教育企画室】	37,066	学校施設の耐震診断(小規模産振棟)	箇所	14	14	A		耐震診断実施箇所数	箇所	14	14	A	
	復	学校施設災害復旧事業費(県立高田高等学校災害復旧事業)【教育企画	8,265	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	1	A		復旧完了施設数	箇所	1	1	A	
		校舎建設事業費(校舎耐震改築事業)【教育企画室】	138,635	学校施設の耐震化	箇所	1	1	A		県立学校の耐震化率	%	97.8	97.8	A	

## 参考資料 平成27年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：平成26年度現状値を基準とし、平成27年度実績値が、平成27年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

- 【A】 達成……………達成度の割合が100%以上
- 【B】 概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
- 【C】 やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
- 【D】 遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標No.	政策項目		目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26現状	H27			
	具体的な推進方策					推進方策指標（主指標◎）	目標	実績	達成度
目指54	No.24児童生徒の学力向上		◎学習定着度状況調査（小学校5年生・中学校2年生）及び基礎力確認調査（高校2年生）において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	%	69	70	70.7	A	
目指55			◎学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生・高校2年生） 2時間以上	%	18	18	18	A	
目指56			◎学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生・高校2年生） 1時間未満	%	39	39	39	A	
推進201	(1)国語・数学（算数）・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上		学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	95	99	A	
推進202			学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	92	95	A	
推進203			学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（高等学校）	%	—	95	84	B	
推進204			学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（小学校）	%	—	80	97	A	
推進205			学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（中学校）	%	—	80	96	A	
推進206			学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（高等学校）	%	—	80	97	A	
推進207			学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	55	93	A	
推進208			学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	45	89	A	
推進209			学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（高等学校）	%	—	45	98	A	
推進210			(2)授業改善の推進と家庭学習の充実		授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（小学校）	%	93	94	93
推進211	授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（中学校）	%			90	92	86.2	D	
推進212	授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（高等学校）	%			93	94	95.3	A	

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H27			
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）			目標	実績	達成度	KPI
推進213		言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	26	28	—	—	
推進214		言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	19	22	—	—	
推進215		少人数教育に係る加配の実現率	%	84.0	85.0	86.2	A	150
推進216	(3)特色ある教育課程の編成	各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	◆ %	97	95	96.9	A	
推進217	(4)「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践	インターンシップを継続して実施した全日制高等学校の割合	%	78	79.0	81.3	A	160
推進218		キャリア教育全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験（2日以上）を実施した中学校の割合	%	—	78.5	79.0	A	161

目指57	No.25豊かな心を育む教育の推進	◎人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	%	75.0	76.0	74.7	D	
目指58		自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	65.0	65.5	66.1	A	
推進221	(1)道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	◎「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	40	56	A	
推進222		◎「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	30	56	A	
推進223		児童生徒の読書者率の向上（小学校）	%	99.3	99.4	99.1	D	
推進224		児童生徒の読書者率の向上（中学校）	%	90.0	90.2	92.1	A	
推進225		児童生徒の読書者率の向上（高等学校）	%	66.7	67.0	67.1	A	
推進226	(2)家庭・地域との協働の充実	保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合（小学校）	%	72	74	—	—	
推進227		保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合（中学校）	%	53	55	—	—	
推進228	(3)いじめなどに対応した教育相談機能の充実	不登校児童生徒数（小学校）	▼ 人	143	141	—	—	
推進229		不登校児童生徒数（中学校）	▼ 人	791	783	—	—	
推進230		不登校児童生徒数（高等学校）	▼ 人	555	549	—	—	
推進231		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思える児童生徒の割合（小学校）	%	84	85	83.6	D	
推進232		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思える児童生徒の割合（中学校）	%	75	76	76	A	
推進233	(4)幼児児童生徒の心のサポートの充実	臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	◆ %	100	100	100	A	
推進234	(5)情報モラル教育の推進	情報モラル教育の推進を実施している学校の割合	◆ %	100	100	100	A	

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）
目指59	No.26健やかな体を育む教育の推進	◎体力・運動能力調査の総合評価（5段階：A～E）のA・B・C段階の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生）
目指60		「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生）
推進237		(1)体力向上や運動に親しむ環境づくり 体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合（小学校）
推進238		体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合（中学校）
推進239		(2)健康教育の充実 児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合（小学校）
推進240		児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合（中学校）
推進241		(3)指導者の資質向上・授業力向上 体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合（小学校）
推進242		体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合（中学校）

単位	H26 現状	H27			
		目標	実績	達成度	KPI
%	79.7	79.7	79.9	A	
%	85.9	85.9	86.8	A	
%	89.5	89.5	96.8	A	
%	65.4	65.4	88.0	A	
%	98.5	98.5	99.1	A	
%	75.0	75.0	92.2	A	
%	—	84.0	89.7	A	
%	—	60.0	74.3	A	

目指61	No.27特別支援教育の充実	◎特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合
目指62		特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数（延べ人数）
推進243		(1)就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数
推進244		◎特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合
推進245		特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合
推進246		(2)特別支援学校における教育の充実 ◎ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数
推進247		医療的ケア研修会に参加した看護師の割合
推進248		(3)県民と協働した特別支援教育体制づくり 特別支援ボランティアの述べ登録者数
推進249	(4)特別支援学校における就職支援 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合	

%	81	85	79	D	
人	491	750	1,056	A	
市町村	29	31	31	A	
%	88	90	89	D	
%	96	98	97	D	
校	0	13	14	A	
%	47	60	68	A	
人	106	110	158	A	
%	99.0	99.2	100	A	

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H27			
					目標	実績	達成度	KPI
指標63	No.28家庭・地域との協働による 学校経営の推進	◎学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合	%	—	70	92.8	A	
指標64		教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動（防災教育）を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	%	—	70	94	A	146
推進250	(1) 目標達成型の学校経営の推進	◎学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数	市町村	9	11	27	A	
推進251		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（小学校）	%	69.8	75	85.8	A	
推進252		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（中学校）	%	64.8	75	83.7	A	
推進253		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（県立学校）	%	83.2	85	100.0	A	
推進254	(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	教育振興運動各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合	%	19.7	40.0	65.0	A	
推進255	(3) 実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進	「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合	◆ %	100	100	100.0	A	145
推進256		防災教育（【そなえる】）の授業実践に取り組んだ学校の割合	%	50	70	97.2	A	147

指標65	No.29生涯を通じた学びの環境づくり	◎生涯学習リーダー登録者数（累計）	人	730	750	750	A	166
指標66		生涯学習に関する研修会等への参加者数	人	6,194	6,400	7,462	A	167
推進257	(1) 学習活動を支援する環境の充実	◎生涯学習情報提供システム利用件数（システムトップページへのアクセス数）	件	23,710	24,895	46,745	A	
推進258		生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）	◆ %	—	80	81	A	
推進259	(2) 生涯にわたる学習機会の充実	◎ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）	◆ %	—	80	90	A	

指標70	No.31文化芸術の振興	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	400	402	404	A	107
推進268	(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	◎県内に在住している芸術家等の公立文化施設及び学校への派遣回数	◆ 回	10	10	9	B	109
推進271	(5) 世界遺産の普及及び新規登録に向けた取組	◎世界遺産が所在する市町村数	市町村	1	2	2	A	100

—	No.32多様な文化の理解と国際交流	—	—	—	—	—	—	—
推進274	(2) 海外とのネットワークの形成	イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	%	—	97	94	B	
推進275		海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	%	—	97	95	B	

指標 No.	政策項目		目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H27			
	具体的な推進方策					推進方策指標（主指標◎）		目標	実績
目指72	No.33豊かなスポーツライフの振興		◎スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）	%	52.8	53	51.4	D	
目指73			国民体育大会天皇杯得点順位	位	37	10位台	16	A	
推進278	(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）（累計）		人	9,494	9,850	11,056	A	114
推進279		岩手県スポーツ推進委員研修会参加率		%	—	30.0	25.4	B	115
推進280	(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	国民体育大会天皇杯得点獲得競技数		競技	20	25	25	A	
推進281		県内指導者の公認資格取得者数（累計）		人	2,498	2,525	2,607	A	
推進282		本県関係選手の日本代表選出数（累計）		人	—	15	25	A	
推進283		プロスポーツチームによる講習会開催回数		回	50	55	133	A	
推進284	(3) スポーツ医・科学サポートの推進	スポーツ医・科学サポート団体数		団体	54	55	64	A	
—	No.38安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備		—	—	—	—	—	—	—
推進331	(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進	県立学校の耐震化率		%	97.8	97.8	97.8	A	

- ◆：維持することを目標としている指標
- ▼：数値を下げることを目標としている指標

◎目指す姿指標

	指標数	割合
A	13	81.3%
B	0	0.0%
C	0	0.0%
D	3	18.8%
未確定	0	—
計	16	—

◎具体的な推進方策指標

	指標数	割合
A	49	81.7%
B	5	8.3%
C	0	0.0%
D	6	10.0%
未確定	7	—
計	67	—